# 高島市スポーツ推進計画

~生涯スポーツ社会の実現をめざして~

平成25年7月 策定 平成30年3月 中間見直し

高島市教育委員会

第	1	章	•	ス	ポ	<u> </u>	ツ	推	進	計	画	の	基	本	的	事	項															
	第	1	節		ス	ポ	_	ツ	推	進	計	画	の	目	的			•	•		•							•				2
	第	2	節		ス	ポ	_	ツ	推	進	計	画	の	期	間																•	4
第	2	章		ス	ポ	<u> </u>	ツ	活	動	の	現	状	ح	課	題																	
	第	1	節		ス	ポ	_	ッ	の	実	施	状	況			•												•		•	•	5
	第	2	節		ス	ポ	_	ツ	寸	体		障	が	ſ١	者	の	ス	ポ	_	ッ		レ	ク	IJ	ェ		シ	∃	ン	の		
					現	状	ع	課	題																						•	7
	(	1	)	高	島	市	体	育	協	会	の	現	状	ع	課	題																
	(	2	)	ス	ポ	_	ツ	少	年	寸	の	現	状	ع	課	題																
	(	3	)	体	育	振	興	会		総	合	型	地	域	ス	ポ	_	ツ	ク	ラ	ブ	の	現	状	ع	課	題					
		1		体	育	振	興	会																								
		2		総	合	型	地	域	ス	ポ	_	ツ	ク	ラ	ブ																	
	(	4	)	そ	の	他	ス	ポ	_	ツ	ク	ラ	ブ	の	現	状	ع	課	題													
	(	5	)	障	が	()	者	の	ス	ポ	_	ツ		レ	ク	IJ	ェ	_	シ	∃	ン	活	動	の	現	状	ع	課	題			
	第	3	節		ス	术	_	ッ	指	導	者	育	成	の	現	状	ع	課	題											•	•	13
	第	4	節		ス	术	_	ツ	推	進	委	員	の	現	状	ع	課	題												•	•	13
	第	5	節		ス	术	_	ツ	施	設	の	現	状	ع	課	題														•	•	15
	第	6	節		ス	ポ	_	ツ	の	安	全	管	理	の	現	状	ع	課	題												•	15
第	3	章		ス	ポ	<u> </u>	ツ	推	進	に	向	け	た	環	境	の	整	備														
	第	1	節		行	政	の	役	割	•	•	•	•	•	•		•	•	•												•	16
	第	2	節		ス	ポ	_	ツ	を	通	し	た	ま	ち	づ	<	IJ														•	16
	(	1	)	健	康	ス	ポ	_	ツ	の	推	進																				
	(	2	)	競	技	ス	ポ	_	ツ	の	推	進																				
	(	3	)	ス	ポ	_	ツ	ク	ラ	ブ	の	育	成																			
	(	4	)	ス	ポ	_	ツ	ボ	ラ	ン	テ	1	ア	の	育	成																
	(	5	)	ス	ポ	_	ツ	1	ベ	ン	۲	の	振	興																		
	第	3	節		ス	ポ	_	ツ	施	設	の	整	備	ځ	ま	ち	づ	<	IJ	•	•	•						•	•		•	24
	第	4	節		ス	ポ	_	ツ	寸	体	ع	の	連	携	•	協	力	の	推	進	•	•				•			•	•	•	25
	第	5	節		市	民	の	理	解	ځ	協	力	の	推	進	•	•	•	•	•	•	•						•	•	•	•	25
	第	6	節		地	域	ゃ	学	校	ځ	の	連	携	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•			•	•	•	•	•	27
第	4	章	'	計	画	の	推	進																								
	第	1	節		推	進	体	制				•		•	•	•	•	•		•	•			•	•	•	•	•	•	•	•	28
	第	2	節		計	画	の	進	行	管	理	•		•	•	•	•	•		•	•					•		•	•	•	•	28
参	考	資	料	1		高	島	市	ス	ポ	—	ツ	推	進	計	画	に	関	す	る	ア	ン	ケ	_	۲		•		•	•	•	29
参	老	咨	拟	(2)		亭	阜	市	ス	ポ	_	vy	推	准	計	画	筶	定	15	向	ゖ	7	ഗ	市	艮	音	部	調	杏			50

#### 第1章 スポーツ推進計画の基本的事項

#### 第1節 スポーツ推進計画の目的

現代社会は、時代の大きな転換期にあり高度な科学技術や情報化の進展により、生活に利便性がもたらされましたが、身体活動の減少や精神的なストレスの増大などにより新たな課題が発生するとともに、少子高齢化や核家族化の進行などによる地域連帯感の希薄化や地域の結束力の低下が進んでいます。スポーツを通じて醸成される地域の一体感は、その地域の教育や安全などのプラスの社会的価値をも見出すことになり、スポーツの振興はますます重要となっています。

このように社会状況が変容するなか、誰もが健康であり続け、健やかで心豊かに生活できる健全な地域社会を築くことは市民の願いであるとともに、重要な行政課題となっています。スポーツ振興により、地域の雇用の創出や医療費の削減などの新たな価値をも見出せるようになれば理想といえます。

また、スポーツは、身体を動かすという人間の欲求に応えるものだけでなく、青少年期における心身の健全な発達を促し、達成感、連帯感を養うとともに、世代・性別を越えた交流機会の提供や地域の一体感を醸成します。さらに、健康への関心が高まっている今日において、誰もがその体力やライフスタイルに応じて、スポーツ習慣を身につけ、継続的にスポーツに親しむことが大切になってきています。

本計画は、高島市のまちづくりの指針である「高島市総合計画」や「高島市教育大綱」に基づき、中・長期的な視点から誰もがいつでも気軽にスポーツに親しみ、楽しむことのできる生涯スポーツ社会の実現をめざし、それぞれの責任と役割において、 今後10年間に取り組むべき方向性を示しています。

国においては、昭和36年に制定された「スポーツ振興法」に基づき、スポーツ振興の各種施策が実施されてきました。その後、平成12年にスポーツ振興の行政計画の基本となる「スポーツ振興計画」が策定され、平成22年8月には「スポーツ立国戦略ースポーツコミュニティ・ニッポン!」が文部科学省から発表され、わが国における今後10年間のスポーツ施策の方向性が示されました。翌平成23年には、スポーツ振興法が50年ぶりに「スポーツ基本法」として全部改正され、昭和36年に制定された、スポーツ振興法の定める施策を充実させつつ、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことが人々の権利であるとの考えに立った新しい時代におけるスポーツの基本理念を提示し、その基本理念の実現を図ることが具体的に規定されました。

また、滋賀県においては、平成14年に県民の豊かなスポーツライフの構築を目指し滋賀県生涯スポーツ振興計画「滋賀のスポーツデザイン2010」が、また平成25年3月に滋賀県スポーツ推進審議会の答申をもとに「滋賀県スポーツ推進計画」が、それぞれ策定されています。

高島市におけるスポーツ活動は、現在、体育協会やスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、体育振興会などを中心に実施されていますが、既存のスポーツ団体は市民になじみにくいという声もあることから、だれでも気軽にスポーツに取り組めるようなきっかけづくりが必要です。

本計画は、市民の一人ひとりが幼少期から高齢期にいたるまで、年齢や体力・能力に応じ、身近な地域で気軽にスポーツを楽しむことができる「生涯スポーツ社会の実現」を目指し、スポーツのもつ「する」「観る」「支える」「学ぶ」「競う」「育てる」「交わる」「健康」「楽しむ」といった要素を育てていくためにどのような政策が必要であるか、その具体的な取り組みを示すため、平成25年度に策定しました。

しかしその後5年の間に、2020年東京オリンピック・パラリンピックや202 4年滋賀国体・全国障害者スポーツ大会の開催決定、高島市体育協会の法人化、高島 市の人口減少や少子高齢化の加速など、市民とスポーツを取り巻く環境には新たな変 化が生じていることから、中間見直しを実施したものです。

#### 第2節 スポーツ推進計画の期間

本計画は、平成25年度を初年度として、概ね10年間で実現すべき基本目標・基本方針を設定し、その実現に必要な方策を掲げています。また、この計画に基づく実行計画を平成25年度に策定しました。

その後、環境の変化や市民ニーズを反映させた具体的な計画として実効性を持たせるために、計画の中間年次(平成29年度)に見直しを行ったほか、必要なときは随時見直しを行います。



【びわ湖高島栗マラソン】

#### 第2章 スポーツ活動の現状と課題

#### 第1節 スポーツの実施状況

本計画の策定にあたり、市民意識調査(平成22年10月実施、配布数1,000 枚、回収率33.1%)を実施しました。それによると、「運動・スポーツで体を動かすことが好きか」という問いには、市民の約5割が「好き」と回答しており、「運動不足だと感じることはあるか」という問いには、「感じる」という回答が約8割に及んでいます。

また、「この1年間に運動やスポーツをどれくらいしたか」という問いに37.5% の人が週に1日以上は運動やスポーツを行っていると回答していますが、国が平成12年に策定したスポーツ振興基本計画において政策目標として掲げる「成人の週1回以上のスポーツ実施率が2人に1人(50%)となることを目指す。」という数値には程遠い状況にあります。中間見直しにあたり、市政モニターアンケート(平成29年7月実施、配布数100人、回収率92%)を実施したところ、運動不足と感じている割合は80%、この1年間の運動量については、週1日以上運動を行っている人の割合が56.6%という結果でした。

	H22	調査	H29	調査
【表1】この1年間にどれくらい運動をしたか	配布数	1,000人	配布数	100人
	回答数	331人	回答数	92人
①週に3日以上	51人	15.4%	26人	28.3%
②週に1~2日程度	73人	22.1%	26人	28.3%
③月に1~3日程度	55人	16.6%	16人	17.4%
④ 3 か月に 1 ~ 3 日程度	21人	6.3%	6人	6.5%
⑤1年に1~3日程度	34人	10.3%	10人	10.9%
⑥この1年間は運動やスポーツをしていない	94人	28.4%	8人	8.7%
⑦無回答	3人	0.9%		

平成22年の市民意識調査では「この1年間でスポーツをしなかった」と回答した94人のうち「忙しくて時間がない」が54人、平成29年の市政モニターアンケートにおいては「運動不足を感じている」と回答した74人のうち「忙しくて時間がない」が51人という結果で最多でした。

【表2】スポーツをできなかった理由	H22	調査	H29調査			
①忙しくて時間がない	54人	35. 1%	51人	38.9%		
②体力に自信がない	19人	12.3%	18人	13.7%		
③スポーツに興味がない	16人	10.4%	5人	3.8%		
④お金がかかる	13人	8.4%	10人	7.6%		
⑤身体的理由 (病気やけがなど)	13人	8.4%	11人	8.4%		
⑥スポーツをする場所や施設がない	11人	7.1%	10人	7.6%		
⑦スポーツをする仲間がいない	9人	1.9%	18人	13.7%		
⑧その他	19人	16.4%	8人	6. 1		

「この1年間、主にどんな運動・スポーツを行ったか」では、ウォーキング、グラウンドゴルフ、ゴルフ、テニス、ジョギングなどの種目が上位を占めており、中でもウォーキングを実施している人の数が極めて多い状況にあります。このことから、手軽にできる運動・スポーツとしてウォーキングが広く生活の中に浸透していることが伺えます。

「これからやってみたい運動・スポーツ」では、テニス、ウォーキング、水泳、ヨガ、グラウンドゴルフ、ゴルフなどの小人数や個人でも行えるスポーツが上位を占めています。

【表3】どんな運動をしたか、これからやってみたい運動(H22調査・上位5つ抜粋)

この1年間でどん	しな運動を	したか
	人	%
①ウォーキング	88	21.7%
②グラウンドゴルフ	28	6.9%
③ゴルフ	28	6.9%
④テニス	21	5.2%
⑤ジョギング	21	5.2%

これからやっ	てみたい追	動
	人	%
①テニス	33	10.1%
②ウォーキング	27	8.2%
③水泳	27	8.2%
④ヨガ	26	7.9%
⑤グラウンドゴルフ	18	5.5%

「健康や体力の維持のために何か心がけていることがあるか」という問いでは、平成22年の市民意識調査では331人のうち65%の人が「心がけていることがある」と回答しており、「どのようなことを心がけているか」という問い(複数回答可)では、「食生活に気をつける」という回答が331人のうち153人と最も多く、その他「睡眠や休養をとる」が114人、「運動やスポーツをする」が87人などとなっています。

平成29年の市政モニターアンケートにおいては、「スポーツに期待するものは」 との問いに対し、「自分自身の健康増進」という回答が92人のうち84人と最も高 く、健康とスポーツの関係についての認識は高まっていると考えられます。

#### 第2節 スポーツ団体・障がい者のスポーツ・レクリエーションの現状と課題

市民の運動やスポーツを振興するためには、市民と行政が力を合わせて取り組む必要があります。市民が加入するスポーツ団体等で組織する高島市体育協会や、教育委員会、スポーツ推進委員が同じ方向性を持ち、課題に取り組むことが求められています。

#### (1) 高島市体育協会の現状と課題

高島市体育協会は、26の競技団体と旧町村単位に組織された地域体育振興会、市内事業所が加盟する事業所体育振興会、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団等で組織されています。高島市体育協会の加入者数は、平成27年度の3,369人から平成28年度は3,754人と大幅に増加し、第2次高島市総合計画の平成33年度目標3,400人を既に上回る状況となっています。市の人口減少が進むなかで加入者数が増加していることは、スポーツを実践する市民の割合が増えていることを示しています。

高島市体育協会では、市民体育大会の開催(2,144人参加:平成28年度大会)をはじめ、県民体育大会への選手派遣(344人参加:平成28年度大会)を行っています。近年においては、アスリートの育成活動が実を結び、県大会や全国大会で優秀な成績を収める選手が増えてきており、オリンピックやワールドカップ等の世界大会に出場する選手も出てくるなど、高島市在住あるいは出身の選手の活躍が注目されています。

また、市からの補助金が主で運営されている高島市体育協会ですが、組織体制強化のため、平成29年7月に「一般社団法人高島市体育協会」として登記されました。これまでの体育協会は市民アスリートの育成、競技力の向上に主眼を置いてきましたが、「競技スポーツ」の推進だけでなく、市民が広くスポーツに親しむ「健康スポーツ」の推進や、強化された組織力により自主事業を展開して自主財源を確保するなど、より積極的な事業展開が期待されます。

#### 高島市体育協会加盟団体(平成29年11月現在)

- ・高島市陸上競技協会 ・高島市軟式野球連盟 ・高島市バレーボール協会
- ・高島市ソフトテニス協会 ・高島卓球協会 ・高島市バスケットボール協会
- ・高島市剣道連盟 ・高島市柔道協会 ・高島市バドミントン協会
- ・高島銃剣道連盟 ・高島市ソフトボール協会 ・高島市サッカー協会
- ・高島市スキー協会 ・高島市ハンドボール協会 ・高島市ボウリング協会
- ・高島市少林寺拳法協会 ・高島市空手道連盟 ・高島ゲートボール連絡協議会
- ・高島市軟式テニス協議会 ・高島市ゴルフ協会 ・高島市グラウンドゴルフ協会
- ・高島市ウエイトリフテイング協会 ・高島市クレー射撃協会
- ・高島市太極拳連盟 ・高島市ボート協会 ・高島市ビーチボール協会
- ・マキノ地域体育振興会 ・今津地域体育振興会 ・朽木地域体育振興会
- ·安曇川地域体育振興会 · 高島地域体育振興会 · 新旭地域体育振興会
- · 高島市事業所体育振興会
- ·滋賀県小学校体育連盟高島支部 ·滋賀県中学校体育連盟高島支部
- ・一般社団法人いまづジョイナスクラブ ・Enjoyマキノ
- ・NPO法人TSC ・高島市スポーツ少年団

#### (2) スポーツ少年団の現状と課題

スポーツ少年団は、スポーツを通じて子どもの心身の健全な育成を図るため、小中学生を中心に組織され、体育協会の傘下にあります。種目を限定した専門性の高い競技組織で、市内には38団(平成29年11月現在)が登録され、団員総数は794人、指導者は196人です。高島市は、スポーツ少年団に加入している子どもたち(小学生)の割合が平成24年、平成28年の調査ともに滋賀県下で2番目に高いものの、加入率は近年大幅に低下してきています。また、少子化に伴い団員数は減少傾向にあり、今後は特に団体競技においてその活動の維持が課題となってきます。

スポーツ少年団の加入率										
	高島市	滋賀県平均								
平成24年	29.7%	20.1%								
平成28年	19.9%	12.7%								

各団には旧町村単位に支部組織があり、本来の競技活動のほか、沖縄県伊江村との 交流活動や社会奉仕活動など地域特色を生かした活動も行われています。

運動に親しむ機会の減少や、生活リズムの乱れなどから、子どもの基礎的な体力や 運動能力が低下している傾向が全国的に見られるようになっています。青少年期は、 将来におけるスポーツ志向を左右する大切な時期であり、この青少年期にさまざまな スポーツに出会い、経験することが大切ですが、先述のように少子化の影響により種 目数の維持が困難になることが懸念されることから、旧町村や学区単位の枠を超えた スポーツ少年団の活動の推進や、高島市体育協会や総合型地域スポーツクラブなどの 諸団体とも連携を図りながら、指導者の資質の向上と組織力の更なる強化が必要です。

#### (3) 体育振興会・総合型地域スポーツクラブの現状と課題

#### ① 体育振興会

本市には、地域住民の健康増進と地域コミュニティの醸成を目的に、地域でのスポーツ振興の推進役として、旧町村単位に体育振興会が組織されています。その活動内容は、体育振興会長のもとにスポーツ推進委員や地区体育委員が中心に実行委員会を組織し、地域運動会やスポーツカーニバル、球技大会、健康ウォーキング等地域での特色を生かした活動を行っています。また、これらの活動に対しては、市より活動補助金が交付されています。

地域運動会等のような実施期日が限定される単発的なスポーツ行事も必要ですが、 地域によっては人口減少や少子高齢化により組織力の低下が顕在化してきているとこ ろもあり、生涯スポーツ社会の実現を考えるとき、行政や体育協会、地域と連携し、 若者や働く世代のニーズを取り入れながら、一人でも多くの市民が参加できるレクリ エーション的な事業を定期的、継続的に展開することが望まれます。

#### ② 総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブは、主にヨーロッパ諸国に見られる地域スポーツクラブ の形態に属し、子どもから高齢者までの様々なスポーツを愛好する人々が参加する総 合的なスポーツクラブで、次のような特徴があります。

- ●単一種目だけでなく、複数の種目を行っている。
- ●青少年から高齢者、初心者からトップアスリートまで様々な年齢、技術の保有者 が活動している。
- ●活動の拠点となるスポーツ施設、クラブハウスを有しており、定期的、計画的に スポーツ活動の実施が可能である。
- ●質の高いスポーツ指導者を配置し、個々のスポーツニーズに対応した適切な指導 が行われる。
- ●地域住民が主体的に運営する。

このように、「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」スポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指して、「総合型地域スポーツクラブ」の設立が全国的に進んでいます。

国の「スポーツ基本計画」では、「総合型地域スポーツクラブ」の設立、育成、支援は、各市町村の果たすべき役割として明記されており、市が積極的に推進していく 方針を打ち出しています。

本市においても、「新旭スポーツクラブ」が平成16年に(現在は活動休止)、「いまづジョイナスクラブ」が平成18年に、「Enjoyマキノ」が平成19年にそれぞれ設立され、市も支援、助成を行っています。また、「TSC」においては、平成18年に自主的に設立され活動を行っています。地域体育振興会の課題と同様、これら総合型地域スポーツクラブも一部では会員の固定化と高齢化により組織が硬直化してきていることから、新たな会員の入会や、多様な世代のニーズに応える柔軟な組織づくりと、助成団体からの助成金や協賛金の確保など、独自財源によるクラブ運営が求められています。

総合型地域スポーツクラブ活動状況(平成29年12月 滋賀県体育協会調べ)

#### |一般社団法人いまづジョイナスクラブ|

会員178人(バドミントン、卓球、太極拳、テニス、ビーチボール、グラウンドゴルフ、ゴルフ、いきいき健康教室)

#### Enjoyマキノ

会員233人(ビーチボール、卓球、ウォーキング、グラウンドゴルフ、ソフト テニス、気功、リズム体操)

#### NPO法人TSC

会員253人(ウォーキング、野球、サッカー、バレーボール、フィットネス教室、たいいくの学校(多種目)、トランポリン、チャレンジスポーツ(障がい者スポーツ)教室)



【総合型地域スポーツクラブの活動 Enjoyマキノ】

#### (4) その他スポーツクラブの現状と課題

市内では、一般社団法人ROKUAICLUBが、サッカー選手の育成を目的とした活動を行っているほか、市内2カ所のB&G海洋センターや民間事業者によるスイミング教室、ジムなどがあります。

少子化が進む児童・生徒のスポーツ環境においては、多様な機会が用意されること は望ましいものの、分散することにより競技が成り立たなくなるなどの弊害もあり、 学校運動部活動や総合型地域スポーツクラブ、その他のスポーツクラブが連携を図る ことが重要となってきます。

#### (5) 障がい者のスポーツ・レクリエーション活動の現状と課題

障がいのある人にとってのスポーツは、障がいの程度の維持や改善、健康の維持増進という側面だけでなく、障がい者の自立と社会参加の促進に寄与するという大きな役割があります。またスポーツは、競技力の向上により達成感を得られたり、健康増進、余暇の活用につながり、人生を豊かにするものでありますが、当然これらは障がいの有無に関係なく誰もが享受できる権利です。しかし、各種調査では次のような結果となっています。

スポーツの実施率 (国の調査)

健常者(平成27年)	障がい者(平成25年)
40%	18%

スポーツの実施率 (高島市の調査)

健常者(平成29年)	障がい者(平成24年)
56%	10%

平成29年の市政モニターアンケートにおいても、7割もの方が障がい者にとって スポーツは身近なものではないと感じています。

障がいのある人にも普通にスポーツをすることができる環境となるよう、体育施設のバリアフリー化はもちろんのこと、障がいの有無に関わらず楽しめる「種目」や「情報」のバリアフリー化が今後より一層進むことが求められます。



【高島版ニュースポーツ ボールダート】

#### 第3節 スポーツ指導者育成の現状と課題

市民のスポーツ活動を推進していくためには、指導者の育成・確保は不可欠で、生涯スポーツの振興の点からも必要です。今日、市民のスポーツ活動へのニーズが高度化・多様化する中、質の高い技術・技能を有するスポーツ指導者が求められています。

しかし、質の高いスポーツ指導者が量的に不足していることもあり、市民がスポーツ活動を行う場においては、指導者不在の場合が多く、少年スポーツにおいても、後継者の発掘・育成に苦慮している団体も少なくありません。

国や各種スポーツ関係団体が指導者養成講座を実施していますが、場所や時間が限られているため市民の参加が困難な状況です。本市においても、スポーツ指導者(スポーツ教室、指導者研修会等)に対する系統的な研修会・講習会等の提供が充分とは言えない状況です。

市民のスポーツ指導者に対するニーズに応えられるよう、新たな指導者の発掘、育成が必要となっています。

#### 第4節 スポーツ推進委員の現状と課題

高島市では、合併前の6つの地域から各4人~8人を選出し、35人をスポーツ推進委員として委嘱しており、このスポーツ推進委員により高島市スポーツ推進委員会を組織しています。



【市民体力測定会】

これまでは地域運動会等の企画運営が中心でありましたが、現在では次のようなスポーツに対する市民の様々なニーズに応える活動に変化してきています。

- ・「びわ湖高島栗マラソン」など市主催のスポーツイベントの実行委員会への参画 により、市民が参加したくなるようなスポーツシーンの創出
- ・「市民体力測定会」や「出前講座」の実施による市民への運動の動機づけ
- ・「里湖で地域を結ぶウォーキング」のように気軽に継続して参加できるスポーツ イベントの実施
- ・高島版ニュースポーツ「ボールダート」の開発による障がいの有無や年代に関わらず楽しめるスポーツの普及

しかし平成29年の市政モニターアンケートではスポーツ推進委員の認知度は低く、市民の8割が「知らない、よく知らない」と答えていることから、行政によるスポーツ推進委員の活動の広報や、スポーツ推進委員としての資質の向上を図る必要があります。



【スポーツ推進委員会 ウォーキング事業】

#### 第5節 スポーツ施設の現状と課題

市内には、社会体育主管課が所管するスポーツ施設をはじめ、社会体育主管課以外が所管する多種多様なスポーツ施設および民間のスポーツ施設が全域に設置されているほか、学校体育施設の開放により一定水準以上の施設確保がなされています。

しかし、今後は人口減少に伴う使用者の減少を踏まえ、維持する施設と統廃合する施設について検討する必要があります。一方、学校体育施設も市民のスポーツ活動の大切な場所であるため、学校体育施設の改修工事の際には、市民への開放を前提として学校教育と社会教育が連携して推進する必要があります。

現在、施設の管理運営は、市が直営で行っている形態と指定管理者制度を導入している形態の2つがあります。前者の管理運営では、専門性のある運動・スポーツプログラムの提供が十分とは言えない状況であり、平成22年の市民意識調査で「市の公共スポーツ施設に望むこと」との問いに対して多かった「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」(17.5%)を実現することが難しい状況です。ソフト面充実の観点からも施設設置目的を達成するため計画的に指定管理者制度を導入し、施設の有効活用を推進していく必要があります。

施設の使用に関しては、多くの人に利用されていますが、利用者の固定化も見受けられるため、利用案内などの広報充実を図り、施設の定期的な情報発信など新規の利用者の拡大を目指していく必要があります。

#### 第6節 スポーツの安全管理の現状と課題

運動・スポーツ活動を推進する上で、さまざまな事故も懸念されることから、出来る限り事故を未然に防ぐための定期的な施設・整備の点検をはじめ、危険な箇所への立入制限や破損箇所等の早期修繕、AEDの設置などに努める必要があります。

また、運動・スポーツの主体となる個人に対しても、主体的に対応できるようスポーツ安全保険等、個人保険への加入意識を促すことが大切です。

#### 第3章 スポーツ推進に向けた環境の整備 ~生涯スポーツ社会の実現を目指して~

#### 第1節 行政の役割

本計画の推進に当たっては、より実効性を高めるため、市民はもとよりスポーツ関係団体や学校、地域が連携を深めながら主体的に役割を発揮することとします。

公的部門の役割は、スポーツ振興活動の支援を通して住民福祉の向上をはかることにあり、市民の誰もが、それぞれの年齢や体力、目的に応じていつでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の創造を政策目標とします。

#### 第2節 スポーツを通したまちづくり

#### (1)健康スポーツの推進

スポーツのもつ「する」「観る」「支える」「学ぶ」「競う」「育てる」「交わる」「健康」「楽しむ」といった要素のうち、「する」「健康」に重点をおいて、市民一人ひとりが目的意識をもってスポーツに取り組めるような環境作りが必要です。特に運動やスポーツは生活習慣病の発症を予防する効果があり、市民の健康増進や医療費の抑制、介護予防の観点からも運動習慣を身につけた人々が増えることが期待されます。



【びわこ成蹊スポーツ大学によるキッズプログラム】

そのためには、幼少期は遊びを通じた楽しい運動体験を原点として、成長に応じた運動機会の提供が必要であり、成人には運動不足の影響を正しく理解してもらい、歩

くことや階段を利用するなど日常生活において進んで運動を心掛けるよう働きかけることが必要です。また幼少期のスポーツ体験はその後の人生におけるスポーツに対する意識を大きく左右するものであり、この時期にスポーツを習慣化することは極めて重要であるにもかかわらず、積極的にスポーツに取り組む子どもと、そうでない子どもの二極化が進んでいるのが現状です。そのため、日常生活における歩数の増加など意識的に運動を心掛けるなど、運動習慣のある人の増加を具体的目標に掲げている「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21)」(平成12年2月策定)、高島市健康増進計画「健康たかしま21プラン」(平成21年6月策定)や「滋賀県スポーツ推進計画」(平成25年3月策定)も踏まえ、健康スポーツの推進に努めます。

#### 健康スポーツ推進の方策

- ・体育振興会と総合型地域スポーツクラブは共に協力しあい、行政、地域と 連携し、地域のスポーツ振興を図ります。
- ・スポーツ推進委員は「里湖で地域を結ぶウォーキング」の実施や、高島版 ニュースポーツ「ボールダート」の普及に努め、また市民体力測定会の実 施を通じ運動の必要性の啓発や、住民への働きかけを強化します。
- ・高島市健康増進計画「健康たかしま21プラン」との連携を図ります。
- ・健康スポーツ推進のための情報発信を行います。
- 年齢や個人の実情に応じ、継続的に歩くことを促します。
- ・びわこ成蹊スポーツ大学が実施するキッズプログラムを支援し、幼少期の スポーツ体験の機会を増やし、スポーツが習慣化するよう促します。
- ・子どもの運動、スポーツ活動の充実を図るとともに、子どもの体力向上を 推進します。
- 中高齢者向けの運動のきっかけづくりを進めます。
- ・障がいのある人に関わる団体や機関と連携し、障がいのある人もない人も 身近な場所でできるニュースポーツ種目などの取組を推進し、スポーツが 楽しめる機会づくりを進めます。
- ・障がいのある人のスポーツについて理解を深める啓発等を促進します。
- ・成人の週1回以上の運動・スポーツの実施率が平成34年度に65%となることを目指します。

#### (2)競技スポーツの推進

市内には多くの種目で高い目標をもってたゆまぬ努力を続け、一定の成果を収めている人が数多くいます。スポーツに情熱を持つ誰もが、その競技水準をより高めることができるようさまざまな機会づくりが求められています。

「学ぶ」「競う」時期にある小学生~高校生は、年齢や体力、目的に応じて、適切な指導者から指導が受けられる環境が求められており、「競う」アスリートを育成するためには、スポーツ少年団、中学校部活動、高校部活動といった成長にあわせた一貫した指導環境が望ましいものの、少子化によりスポーツ少年団の団員数の減少や、学校運動部活動の廃部・部員の減少など、児童・生徒に多様なスポーツの機会を提供することが難しくなりつつあります。今後は学校やスポーツ少年団で完結することなく、総合型地域スポーツクラブなどのスポーツ関係団体はもとより、福祉や市民協働に関係する団体や機関が相互に一層連携協力できる環境づくりが求められます。

また、高齢化とともにマスターズ世代も多くなり、これまでのレクリエーションスポーツ的なものから、学生時代の部活動などで本格的に打ち込んだことのあるスポーツに復帰したり、新しく興味をもったスポーツに取り組む高齢者が増加することから、この世代を対象とした競技の機会も必要となり、その年代に応じて競技を楽しめる大会やイベントの開催を推進します。

2020年東京オリンピック・パラリンピック、2024年滋賀国体・全国障害者スポーツ大会は、開催国、開催県として多くの選手の活躍が期待されます。特に滋賀国体に向けて市内在住あるいは出身の選手が一層活躍できるよう、次世代のアスリートとなるような優れた身体能力のある児童生徒を発掘し、多様なスポーツを実践しながら切磋琢磨できる環境を提供することが求められます。

全国や世界で活躍する一流アスリートと身近に接する機会(教室や交流会など)の 開催などにより、競技力の向上に対するより高いモチベーションの維持や、スポーツ に対する関心の高揚を図ります。

#### 競技スポーツ推進の方策

- ・高島市体育協会と傘下の競技団体、学校体育連盟等が連携し、競技力向上 に向けて課題の共有と具体的な推進方策の展開を図ります。
- ・高島市体育協会を中心に各種競技大会の水準の向上を図るとともに、スポーツ教室や交流会などの事業を支援します。
- ・高島市体育協会、スポーツ少年団、学校部活動、スポーツクラブの連携を 図り、子どもから大人まで一貫した競技者の育成環境の整備に努め、20 24年滋賀国体・全国障害者スポーツ大会で活躍する選手の育成に努めま す。
- 高齢者の競技力の向上を支援します。
- 全国大会や国際大会出場者の顕彰制度を拡充します。
- ・競技大会の募集や結果などの情報の発信を拡充します。
- ・指導者不足と少子化により、学校の部活動が縮小傾向にあるなか、学校体育の健全な普及発展を目的とした小・中学校体育連盟の自主的活動について、市内のスポーツ団体と連携を図りながら、児童、生徒のスポーツ活動を引き続き支援します。
- ・全国障害者スポーツ大会への出場をはじめ、障がい者の競技スポーツへの 取り組みを支援します。
- ・市民体育大会の参加者数(H23 2, 210人)の、10年後(平成34 年度)30%の増加を目指します。
- ・県民体育大会の参加者数(H23 335人)の、10年後(平成34年度) 10%の増加を目指します。

#### (3) スポーツクラブの育成

スポーツクラブや団体は、理想的にはその団体のサービス提供に対する対価により、 自立的に運営されるべきですが、今後は、団体の持つ指導力や組織力を生かし、いか に会員を増やし、安定した団体運営ができるかが重要となります。

そのため、行政においてはスポーツ団体の公益性を認識するとともに、スポーツ活動を通じた住民の自主的なまちづくりや、青少年の健全育成の担い手として財政的支援等を行い、クラブや団体の安定的な財政基盤の確立を促します。

また、学校運動部活動の指導現場では、顧問の不足や専門性の不足といった課題が 生じています。地域の有能な指導者の招へいが要望されていますが、学校運動部活動 の時間に定期的に指導することは困難な状況にあります。NPOの事業としてスポー ツクラブと連携し、外部スポーツ指導者派遣制度などそれぞれの特徴を活かせる環境 づくりに努めます。

#### スポーツクラブ育成の方策

- ・スポーツクラブが自立して運営できるように支援します。
- ・総合型地域スポーツクラブの法人格の取得を支援します。
- ・スポーツ団体の指導者の資質向上や新たな指導者の養成のための支援をします。
- クラブマネージャーの育成を支援します。
- ・スポーツクラブによる体育施設の指定管理者に向けて施設管理の方策について検討します。
- ・市民へのスポーツ情報の積極的な提供に努めます。
- ・学校教員、医師などの専門的知識や経験を有する地域住民に対する総合型 地域スポーツクラブへの参画を促します。
- ・障がいの程度に応じて指導ができる指導者の育成を図り、障がいのある人 もない人も共にスポーツを楽しめるクラブづくりを推進します。

#### (4) スポーツボランティアの育成

スポーツイベントの特徴は、従来の「する」「観る」に加えて「支える」ことが大きい比重を持つようになってきています。スポーツボランティアとは、「地域におけるスポーツクラブや団体において、報酬を目的としないで、その運営や活動を日常的に支えたり、スポーツ大会やイベントなどにおいて、専門的な能力や時間を進んで提供し、大会等を支える人のこと」を指しています。

本市で開催されているマラソン大会やトライアスロン大会、運動会や球技大会も多くのボランティアスタッフにより運営されており、スポーツクラブも役員やボランティアによりその活動が支えられています。ボランティアで大会運営に参加し支えることにより、人間の根源的な欲求の一つである「人の役に立ちたい」という思いを具現化するとともに、災害時など非常時にも相互に助け合う、協力しあうという側面を併せもっています。ボランティア活動は、スポーツ振興のみならず地域社会の安全にもつながることから、今後は広く市民にスポーツボランティアの重要性や必要性について積極的に啓発することにより、スポーツ活動を支えるボランティアの育成に努めます。

また、新たにスポーツを始める時、質の高い指導者の存在はその後のスポーツ活動 に大きな影響を与えることから、スポーツと楽しく出会い、続けたいという気持にさ せるスポーツ指導者の育成を図ります。

#### スポーツボランティア育成の方策

- ・スポーツボランティアの認識を高めるための啓発活動や募集広報により、 ボランティア参加者の拡大を図るとともに、社会福祉協議会やスポーツ指 導者NETしが(旧滋賀県スポーツリーダーバンク)など他のボランティ ア支援組織との連携を図ります。
- ・スポーツ愛好家のニーズに対応できるよう、指導者の資質向上のための講習会や研修会を開催します。
- ・スポーツボランティア精神を醸成するため、民間のスポーツ団体を支援します。

#### (5) スポーツイベントの振興

スポーツ振興において、スポーツイベントは「する」「観る」「支える」の要素に関わっています。スポーツイベントとは、「スポーツ競技力の発揮や普及、交流、および興業を目的に開催される大会や行事」と定義され、「競技力を競うことを目的とした競技会」と「スポーツの普及や参加者の交流を目的にしたもの」とに分けることができます。

また、イベントによっては、市外から多くの参加者を集めることができ、宿泊を伴 うものもあることから、経済的効果が期待できます。

本市においても、多くの市民にスポーツに参加する機会を提供するため、スポーツ イベントが開催されていますが、多様化するニーズに優先順位をつけ、限られた予算 の中でより多くの市民が参加できるように努めます。



【トレイルランニング大会】

イベント実施時に、道路の通行規制など住民の日常生活に影響を及ぼす場合は、充分な準備を行い、影響が極力小さくなるよう配慮し、地域住民の理解を得ながら実施します。

スポーツイベントの実施主体は、スポーツ団体の育成の面からもスポーツ団体としていくことが望ましく、市は自主的な運営ができるよう働きかけや支援を行います。

#### スポーツイベント振興の方策

- ・運動のきっかけづくりとして、市内ウォーキングコースなどを使用して、 ウォーキングを実施し、市民の健康増進を図ります。
- ・市主催のマラソン大会をはじめ、トライアスロン大会やトレイルランニン グ大会など全国規模の大会の開催を支援することで、全国から集まる参加 者と市民の交流の活性化、市民も参加したくなるような魅力的なスポーツ シーンの創出に努めます。
- ・風光明媚な景観や変化に富んだ地形など、スポーツの好適地としての情報発信と、観光協会などスポーツ以外の団体との連携を強化し、宿泊を伴ったスポーツ大会などの誘致を行い、スポーツツーリズムを通じた市内経済の活性化と、スポーツ施設の利用率向上を図ります。
- ・スポーツ参加へのきっかけとなるような講習会や体験会をスポーツ推進委員が中心となり開催します。
- ・地域の伝統のあるスポーツ行事を継承します。
- ・障がい者団体や支援団体と共に、障がい者のスポーツ・レクリエーション 活動を推進し、また、障がい者スポーツ大会への参加を支援します。

#### 第3節 スポーツ施設の整備とまちづくり

本市には、町村合併前に建設されたスポーツ施設が多数あり、これらの施設は、多くの市民に利用されています。今後もスポーツ活動の拠点であるスポーツ施設や学校体育施設の整備と充実を図り、市民が快適にスポーツを実施できるような環境づくりを推進します。

スポーツ施設の中には老朽化が進んでいる施設や、ユニバーサルデザインに対応できていない施設もあるため、順次計画的に改修整備を行い、住民のスポーツ活動を支えます。スポーツ施設は、スポーツ活動はもちろん、仲間づくりやコミュニケーションの場でもあり、既存の施設の延命化を図るとともに、市民の立場に立った施設の整備に力を入れます。しかしながら、本市の人口減少と厳しい財政状況を考えると、すべての施設を今後も維持することは困難であり、維持すべき施設と統廃合する施設を検討し、利用者をはじめ市民の理解を得られるよう丁寧な説明を尽くしながら、持続可能な施設運営を図ります。

指定管理者制度による体育施設の管理運営は、現在5施設で実施しています。民間のノウハウを生かしたサービスの提供により、よりスポーツへの関心も高まり、市民のニーズに応えています。施設の持つ公共性をより発揮し、設置目的を達成するために、今後の指定管理者についてはスポーツクラブやスポーツ団体の持つ管理指導能力を重要な要素として選定します。

#### スポーツ施設整備の方策

- ・施設の計画的修繕、改修工事を実施し、効用を維持します。
- ・施設のバリアフリー化を推進し、高齢者や障がい者も安心して使用できる スポーツ環境整備を推進します。
  - ・スポーツ大会が誘致できる施設を整備し、宿泊施設と連携したスポーツツ ーリズムを推進します。
- ・指定管理者制度を活用した体育施設の管理運営を推進します。
- ・維持する施設と統廃合する施設を検討し、市の人口減少や厳しい財政状況 に応じ、持続可能なスポーツ施設の運営を図ります。

#### 第4節 スポーツ団体との連携、協力の推進

市内には多くのスポーツ関係団体・機関があり、指導者不足や会員数の減少など組織や運営上の課題を抱えているところもあります。既存のスポーツ団体の意見や情報の交換を行い、従来の垣根を超えた枠組みで、多様化する住民のスポーツニーズに応えられるよう、組織力強化のために法人化された体育協会を中心として、スポーツ団体の連携協力体制を強化し課題の解決に努めます。

総合型地域スポーツクラブは、幅広い年代の人々にスポーツの機会を提供していますが、スポーツに最も真剣に取り組む世代のニーズに充分応えられていない課題があります。市民がスポーツに気軽に取り組める活動も実施できるよう指導、支援します。

にぎわいや活力のあるまちづくりにおいて、大きな規模のスポーツイベントを実施する時は、行政と競技団体や関係団体がそれぞれの得意分野を発揮できるように連携協力体制を整備します。

また、スポーツを通じたまちづくりや青少年育成について、スポーツ団体との意見 交換の場を作り、民間ならではの発想や斬新な意見を実現するため、行政は効果を見 極めたうえで、その公共的側面を積極的に支援します。

高島市協働事業提案制度も実施されていますが、今後は、スポーツ団体とのより多くの協働事業に支援ができるよう、スポーツ団体の育成に努めます。

#### 第5節 市民の理解と協力の推進

市民の一人ひとりが、生涯を通じて健康でいきいきとした生活を送ることは、高齢 社会においてますます大切さを増しています。一人ひとりが運動不足の弊害を認識し、 生活習慣病から身体を守るため、運動、栄養、休養などバランスを考慮し健康を維持 できるよう、スポーツを生活習慣化するよう働きかけを強化する必要があります。

また、一人ひとりがスポーツや趣味を通じて個人の生活の質を高めることが求められます。複雑化多様化する社会が抱える様々な問題を克服するためには、個人が自立し、主体性をもって行動することが大切です。明るく健康に満ちた社会やまちづくりのため、スポーツが人々の生活に浸透し、生活に溶け込んだ新しい文化として定着するように努めます。

社会全体でスポーツを支える基盤整備のために「新しい公共」の形成が求められています。「新しい公共」とは、教育や子育て、まちづくり、防犯、福祉といったサー

ビスを国や地方自治体だけで担うのではなく、地域の一人ひとりに参加してもらい、 それを社会全体で応援しようといった価値観を指します。この「新しい公共」の拠点 として、スポーツクラブが活動できるような環境づくりを推進します。

#### 第6節 地域や学校との連携

近年、子どもの運動能力の低下が指摘されています。『青少年のスポーツライフ・データ2010』(笹川スポーツ財団 2010)によると、10代(10歳~19歳)の男女のうち、週に6回以上スポーツ活動を実施している子どもたちは、全体の50.6%で、週1回以下が23.7%と積極的にスポーツをする子どもとそうでない子どもの二極化が顕著になっています。スポーツに親しむ機会の少ない子どもたちへの働きかけが必要なことから、幼児期から運動に親しむ機会づくりに向けて若い子育て世代への啓発や動機付けのイベントやスポーツ行事を充実させます。

国の「スポーツ立国戦略」にも記載されているように、ライフステージに応じた対策として、子ども世代への取り組みを重要視しています。子どもの体力低下は、肥満や生活習慣病の要因になることから、子どもの体力向上の取り組みや保護者向けの啓発事業を実施、支援します。

また、学校運動部活動も生徒数の減少、指導者不足、ニーズの多様化など、種目によっては存続できない状況も出ています。スポーツに真剣に打ち込む児童・生徒のニーズに応えるため、学校運動部活動とスポーツクラブの連携が重要になっています。スポーツクラブは、学校運動部活動の不充分な分野を補えるような指導力の養成を、学校運動部活動は外部指導者の受け入れ体制を整備することに努めます。

平成28年12月には本市と「びわこ成蹊スポーツ大学」がスポーツ振興等に関する連携協定を締結したことから、学生にとっては実社会にでるための研修として地域や学校のスポーツ活動に関わり、またそのことが学校やスポーツクラブ、スポーツ機関にとっては専門の新しい高度なスポーツ情報や技術指導が学べる機会となるなど、双方にメリットとなるよう、行政はそのコーディネーターとしての役割を果たし、更なる連携を推進します。

### 第4章 計画の推進

#### 第1節 推進体制

計画の推進にあたっては、市民、地域やスポーツ関係団体、学校、行政などが、協働して活動すると同時に、それぞれが主体的なスポーツ推進の担い手となって取り組むことが重要です。

「高島市スポーツ推進審議会」を設置し、高島市全体で、市民の一人ひとりが幼少年期から高齢期にいたるまで、年齢や体力・能力に応じ、身近な地域で気軽にスポーツを楽しむことができる「生涯スポーツ社会の実現」を目指し、計画を推進します。

#### 第2節 計画の進行管理

計画を推進するとともに、その進行程度を確認するために、「高島市スポーツ推進 審議会」を開催し、計画に対する評価を定期的に行います。

## 参考資料①

## 高島市スポーツ推進計画に関するアンケート 結果

(平成29年7月実施)

対象:市政モニター登録者100人 回答数92人(回収率92%)

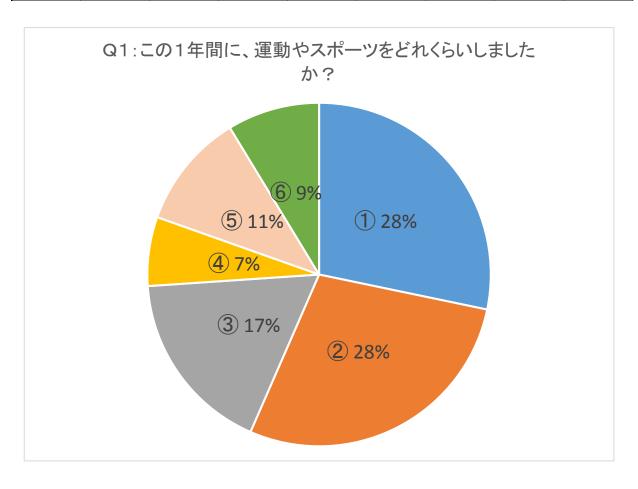
アンケートの目的:高島市では平成25年度から平成34年度までの10年間を計画期間とした「高島市スポーツ推進計画」( $\frac{1}{2}$ 1)を策定しており、今年度その中間見直しを実施するにあたり、市民の皆様のご意見を参考にするため。

#### ● スポーツの実施率に関すること

#### Q1:この1年間に、運動やスポーツをどれくらいしましたか。

- ①週に3日以上
- ②週に1~2日程度
- ③月に1~3日程度
- ④3か月に1~3日程度
- ⑤1年に1~3日程度
- ⑥この1年間は運動やスポーツをしていない

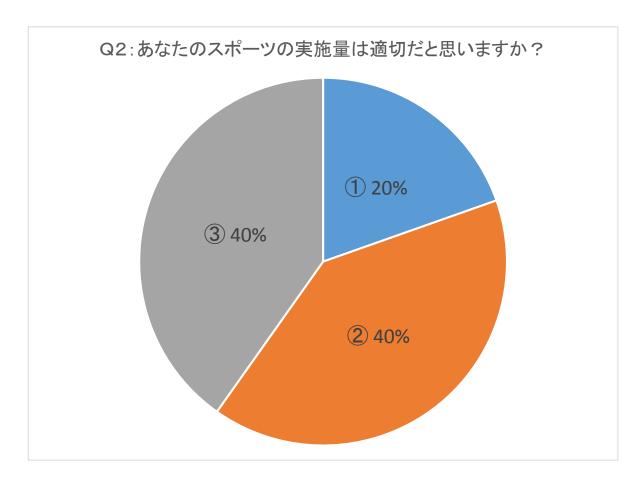
1	2	3	4	5	6		
26	26	16	6	10	8		人
28%	28%	17%	7%	11%	9%		%



### Q2:あなたのスポーツの実施量(※2)は適切だと思いますか。

- ①十分スポーツをしている(運動不足ではない) →Q4へ
- ②もう少しスポーツをした方が良いと思う(少し運動不足) →Q3へ
- ③もっとスポーツをした方が良いと思う(かなり運動不足)  $\rightarrow Q3$ へ

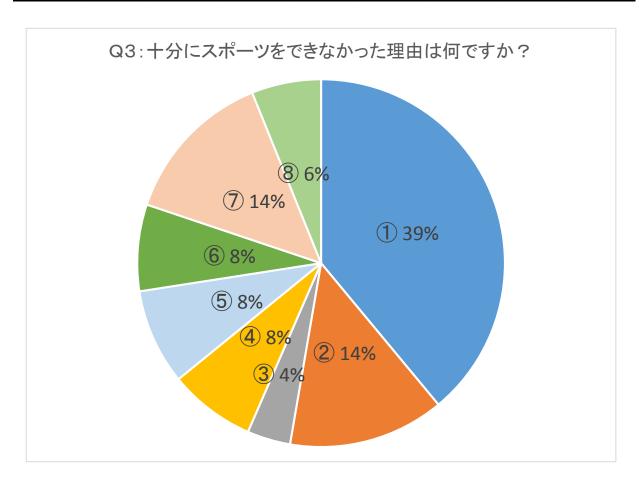
1	2	3				
18	37	37				人
20%	40%	40%				%



## Q3:Q2で「少し」「かなり」運動不足と答えた方におたずねします。十分にスポーツをできなかった理由は何ですか。(複数回答可)

- ①忙しくて時間がない
- ②体力に自信がない
- ③スポーツに興味がない
- ④お金がかかる
- ⑤身体的理由により (病気やけがなど) スポーツをしたくてもできない
- ⑥スポーツをする場所や施設がない
- ⑦スポーツをする仲間がいない
- 8 その他

1	2	3	4	5	6	7	8	
51	18	5	10	11	10	18	8	人
39%	14%	4%	8%	8%	8%	14%	6%	%



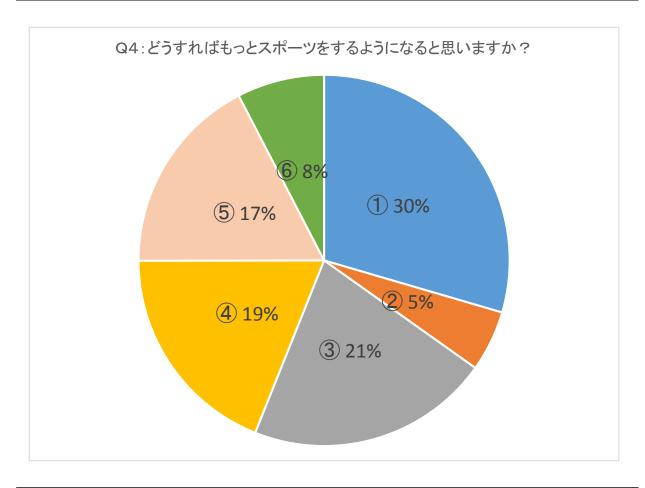
#### その他:

- ・小さい子供がいるのでスポーツできない(2)
- ・仕事で疲れてスポーツどころではない
- ・肉体労働をしていて疲れている
- ・熊が多くてウォーキングができない
- ・日頃の心がけが必要
- 面倒だから

## Q4:あなたは、どうすればもっとスポーツをするようになると思いますか。 (複数回答可)

- ①体育館などの施設が気軽に使えるようになると良い
- ②有名なマラソン大会など、全国から参加者が集まる大きなスポーツイベントがあれば参加 したくなる
- ③自治会など地域の身近なところでスポーツイベント(運動会やグラウンドゴルフ大会、 ウォーキングなど)があれば参加する
- ④スポーツに関する情報をもっと発信してほしい(市の広報誌など)
- ⑤残業や休日勤務を減らすなど、スポーツをするための時間を確保する
- ⑥その他

1	2	3	4	5	6		
39	7	128	25	23	10		人
30%	5%	21%	19%	17%	8%		%



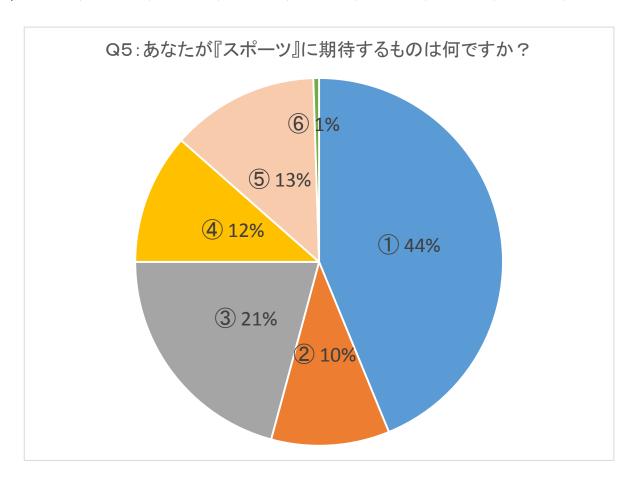
#### その他:

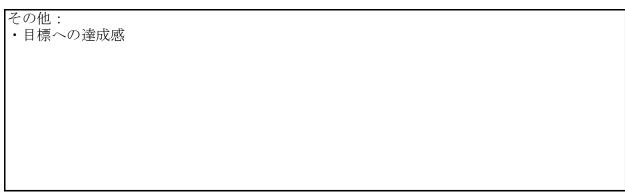
- ・スポーツイベントに誰かが誘ってくれると参加する
- ・体の動きが制限されているので、動く範囲内での運動を指導してもらえると良い
- ウォーキング・ジョギングコースの整備
- ・スポーツをする動機、きっかけがほしい(やる気が出ればいい)
- ・自分の意識の低さが問題
- ・施設使用料が安いと、もっと利用する
- ・基礎的な身体能力が必要(体力をつける)

### Q5:あなたが『スポーツ』に期待するものは何ですか。

- ①自分自身の健康増進(体力の維持や向上、ダイエット、ストレス解消など)
- ②自分自身の技術や競技力の向上
- ③同じスポーツを楽しむ仲間づくり
- ④家族とのコミュニケーション
- ⑤ご近所や地域の人との関係づくり
- ⑥その他

1	2	3	4	5	6		
84	20	40	22	25	1		人
44%	10%	21%	12%	13%	1%		%



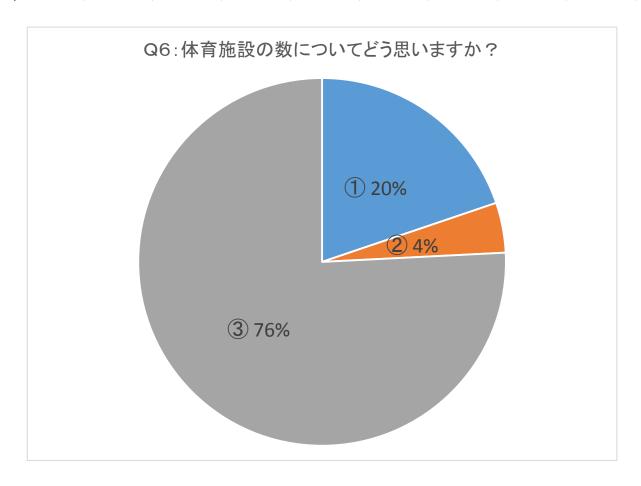


#### ● 市の体育施設に関すること

## Q6:体育館、グラウンド、プールなど身近な体育施設の数についてどう思いますか。(※3)

- ①もっとたくさんあればいいと思う(現状では少ないと思う)
- ②もっと少なくてもいいと思う (現状では多いと思う)
- ③ちょうど良いと思う

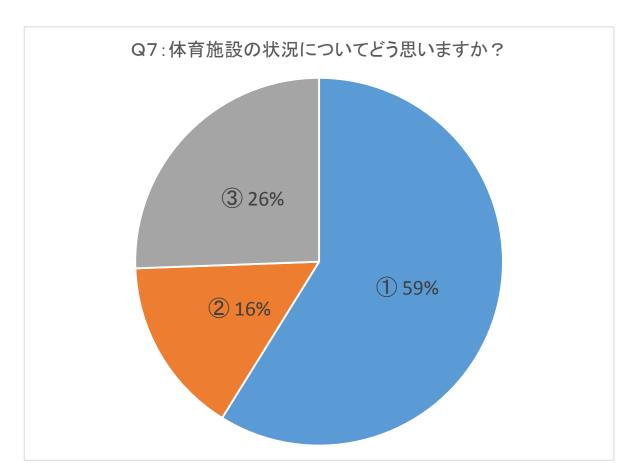
1	2	3				
18	4	69				人
20%	4%	76%				%



#### Q7:市では設置から年数の経つ体育施設を順次改修していますが、体育館、グラウンド、 プールなどの身近な体育施設の状況についてどう思いますか。

- ①きれいで安全だと思う。(しっかりと改修できている)
- ②危険や不便さを感じる。(改修がゆきとどいていない)
- ③その他

1	2	3				
53	14	23				人
59%	16%	26%				%



#### その他:

- 一概に言えない
- 古いものもある
- ・避難所となっている施設は優先的に改修するべき
- ・利用しないから分からない (10)
- ・手続きが面倒、遠い
- 数が少ない
- ・多く残して、しっかり改修してほしい
- ・市民に開かれた体育施設と思えず、訪れたことがない

# ● スポーツ団体に関すること

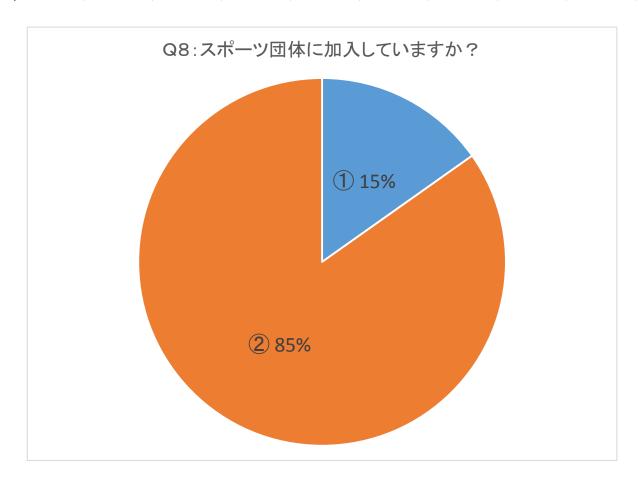
# Q8:あなたは、各競技のクラブや愛好会、総合型スポーツクラブなどのスポーツ団体に加入していますか。

①加入している →Q10~

⇒よろしければ、団体名を教えてください。

②加入していない →Q9へ

1	2				
14	78				人
15%	85%				%



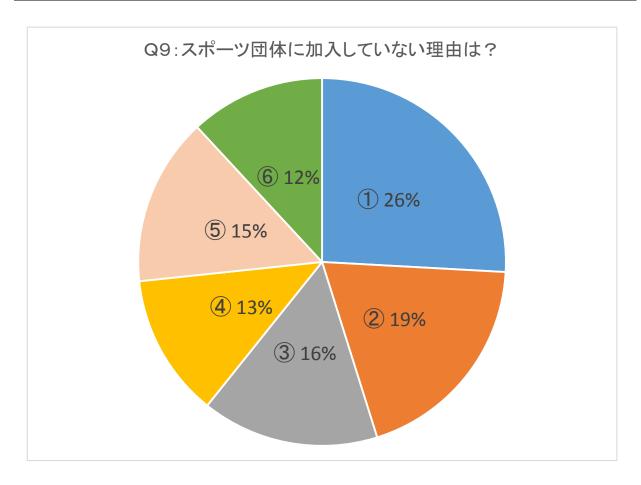
# 団体名:

- 卓球(2)
- 3 B体操
- ヨガ
- ・グラウンドゴルフ
- 太極拳
- ・バドミントン
- 柔道
- 野球

# Q9:Q8で「加入していない」と答えた方へおたずねします。現在、スポーツ団体に加入 していない理由は何ですか。(複数回答可)

- ①興味がない
- ②スポーツ団体の存在を知らない
- ③加入するには敷居が高い (レベルが高そう、ついていけなさそう)
- ④会費などお金がかかる
- ⑤人づきあいや人間関係がめんどう
- ⑥その他

1	2	3	4	5	6		
35	26	21	17	20	16		人
26%	19%	16%	13%	15%	12%		%



## その他:

- ・忙しい、時間がない(2)
- ・仕事が忙しい(4)
- ・子育て中だから、小さい子供がいる(2)
- ・身体的理由でスポーツできない(3)
- 高齢のため
- 他にやりたいことがある
- ・加入しなくてもできる・そこまで一生懸命にする気がない
- ・時間が制約される

Q10:子どものスポーツ少年団加入についてお尋ねします。お子さんはスポーツ少年団に加入していますか。ご家族に小学生以上のお子さんがおられない場合は、いると仮定してお答えください。

- ①加入している(小学生以上の子どもがいれば加入させたい)  $\rightarrow$ Q12  $\rightarrow$  よろしければ、団体名を教えてください。
- ②加入していない(小学生以上の子どもがいても加入させない) →Q11へ

1	2				
57	31				人
65%	35%				%



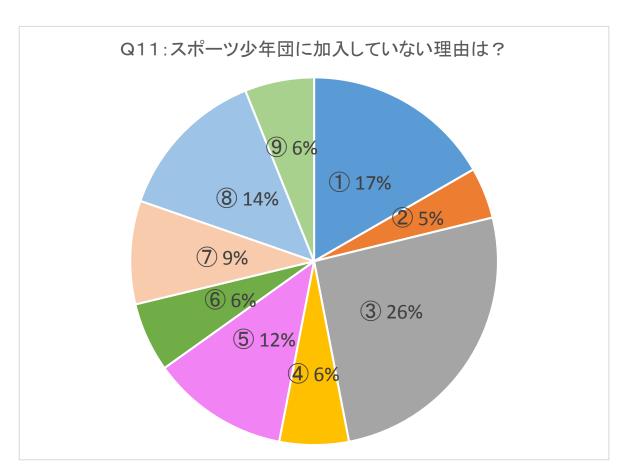
#### 団体名:

- サッカー (5)
- 野球(5)
- ・テニス (2)
- 体操
- 卓球
- 剣道
- 少林寺拳法
- T S C (2)

# Q11:お子さんがスポーツ少年団に加入していない、または、家族に小学生がいても加入させない理由は何ですか。(複数回答可)

- ①子どもがスポーツに興味を持っていない
- ②親が興味を持っていない
- ③どのようなスポーツ少年団があるかよく知らない
- ④レベルが高くてついていけなさそう
- ⑤会費や遠征費などお金がかかる
- ⑥子ども同士の人間関係が不安
- ⑦親同士の人間関係が不安
- ⑧親や子どもの負担が大きい
- ⑨その他

1	2	3	4	5	6	7	8	9	
11	3	17	4	8	4	6	9	4	人
17%	5%	26%	6%	12%	6%	9%	14%	6%	%



#### その他

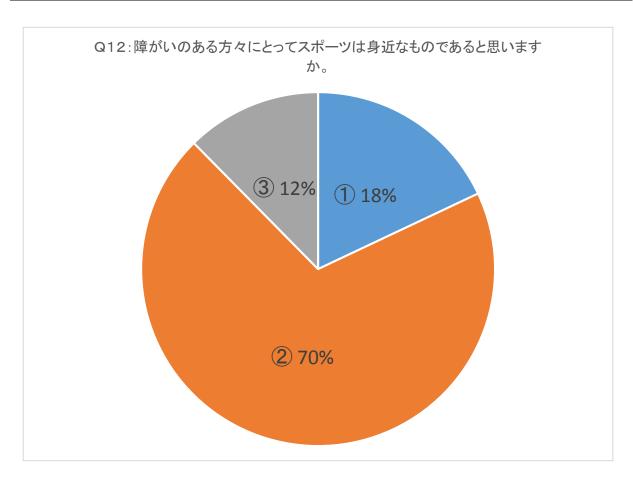
- ・スポ少以外の活動をしている
- ・時間が合わない(土日だと家族で外出できない)
- ・既存の団体でなく、個人で興味のあるプライベートジムに行く
- ・車の免許がないので送迎できない
- ・やりたかった競技は人数が少なく、活動できなかった

# ● 障がい者スポーツに関すること

Q12:市では障がい者スポーツの普及啓発にも取組んでいますが、あなたから見て、あなたの周りの障がいのある方々にとってスポーツは身近なものであると思いますか。

- ①身近だと思う
- ②身近だと思わない
- ③その他

1	2	3				
16	62	11				人
18%	70%	12%				%



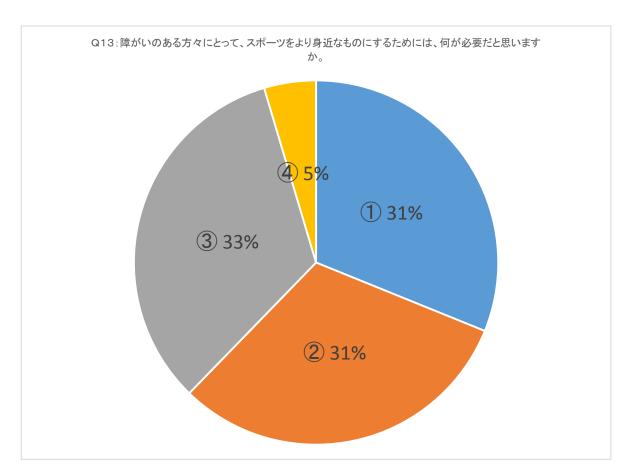
#### その他:

・身近にいない、知識がない等のため、分からない(9)

# Q13:障がいのある方々にとって、スポーツをより身近なものにするためには、何が必要だと思いますか。 (複数回答可)

- ①障がいの有無にかかわらず楽しめるスポーツ種目の開発、普及
- ②障がいの有無にかかわらず楽しめるスポーツに関する情報発信
- ③段差の解消や多目的トイレの設置など、体育施設のバリアフリー化
- ④その他

1	2	3	4			
47	47	50	7			人
31%	31%	33%	5%			%



#### その他:

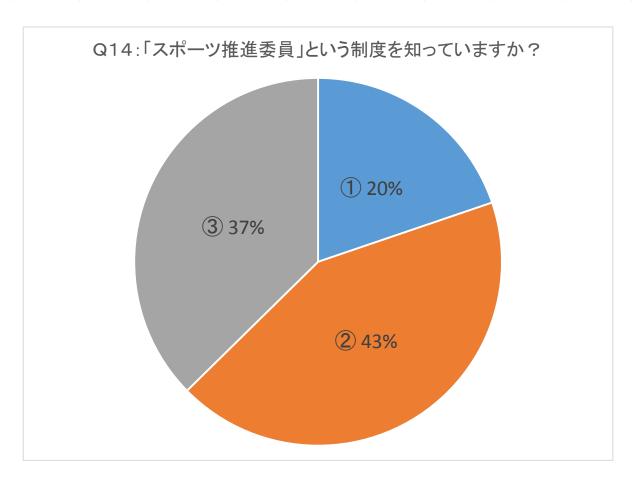
- ・同じ障害を持った仲間、サポートしてくれる人など
- ・家族が介助しなくても定期的に活動できるような、専門の指導員がいるクラブ
- ・障がい者スポーツの大会を市内で開催すると良い
- ・個々に合った種目を探すため、様々な種目を見学、体験できる、指導できる仕組みづくり
- ・スポーツをする際に医療的なバックアップがあると安心して参加できる
- 送迎

# ● 市行政のスポーツへの関わりに関すること

# Q14:「スポーツ推進委員」という制度を知っていますか。

- ①知っている
- ②聞いたことはあるがよく知らない
- ③知らない

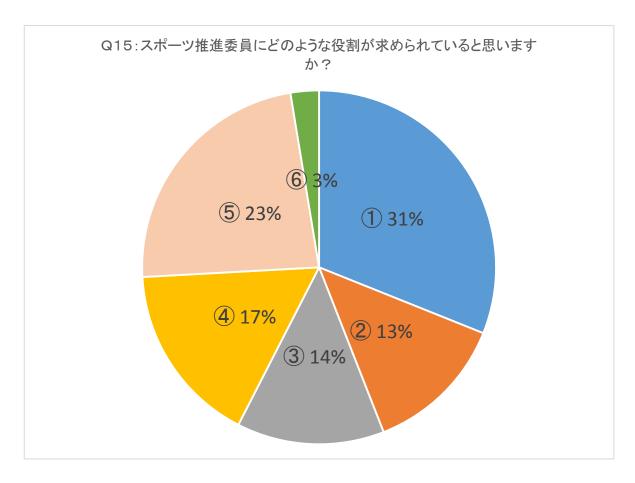
1	2	3				
18	39	34				]人
20%	43%	37%				%



Q15:現在、市内のスポーツ推進委員は35人(※4)で、市や各地域の体育振興会などと力を合わせて地域の運動会や球技大会、ウォーキングなどのスポーツイベントの企画運営をしています。あなたはスポーツ推進委員にどのような役割が求められていると思いますか。(複数回答可)

- ①身近なスポーツイベントの開催 (ウォーキングや体操教室など)
- ②体力測定の開催
- ③スポーツの実技の指導(出前講座など)
- ④『ニュースポーツ (年齢や体力差、障がいの有無などに関わらず誰もが楽しめる新たなスポーツ) 』の普及
- ⑤スポーツに関する情報発信
- ⑥その他

1	2	3	4	5	6		
60	25	26	32	45	5		人
31%	13%	14%	17%	23%	3%		%



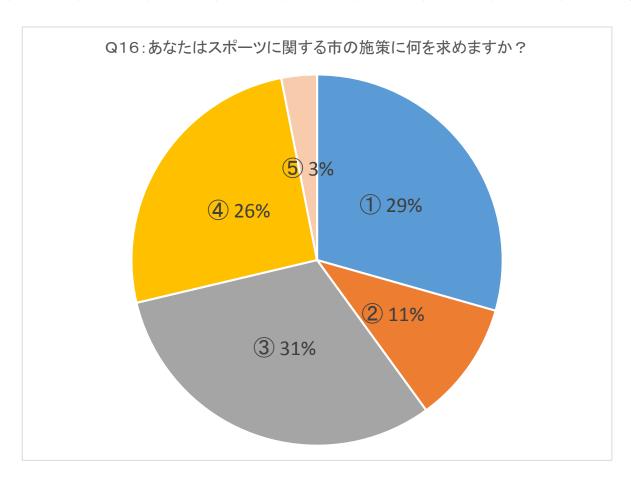
#### その他

- ・スポーツと健康に関する指標の設定などし、実績を可視化できると良い
- ・地域スポーツの振興
- 推進委員の能力向上
- ・スポーツと健康に関する指標の設定などし、実績を可視化できると良い
- 必要ない

# Q16: あなたはスポーツに関する市の施策に何を求めますか。 (複数回答可)

- ①ウォーキングや体操教室などの気軽なスポーツイベントの開催
- ②大規模なスポーツイベントの開催や誘致
- ③体育館、グラウンド、プールなど体育施設の適切な管理
- ④スポーツに関する情報発信
- ⑤その他

1	2	3	4	5			
47	17	50	41	5			人
29%	11%	31%	26%	3%			%



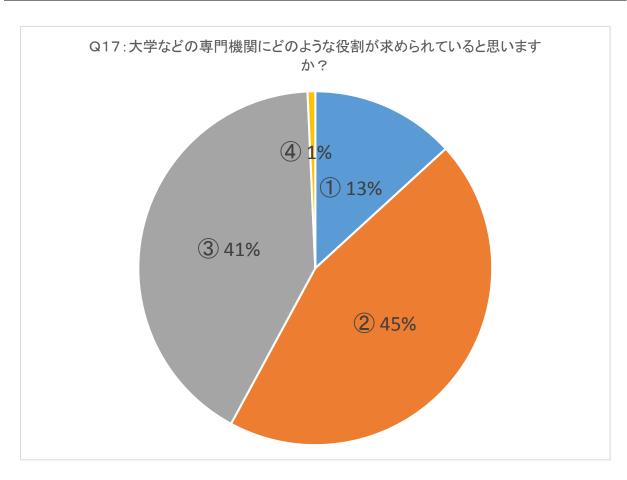
#### その他:

- ・地域がスポーツで盛り上がるようなPR活動
- ・体育館、公民館の無料化(2)
- ・使用されていない公共施設の開放

Q17: 市では、スポーツに関する専門的な情報の提供や指導者の派遣について、平成28年12 月に大津市にある「びわこ成蹊スポーツ大学」と連携協定を結びました。あなたはこのような専門機関にどのような役割が求められていると思いますか。(複数回答可)

- ①大人のスポーツ団体 (競技団体) への専門的な指導
- ②青少年のスポーツ団体 (スポーツ少年団や小・中学校、高校のクラブ活動) への専門的な指導
- ③市民へのスポーツの楽しみ方の普及
- ④その他

1	2	3	4			]
20	68	63	1			人
13%	45%	41%	1%			%



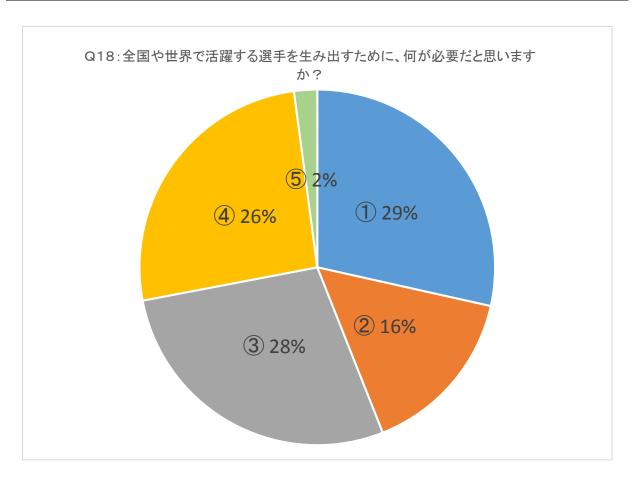
#### その他:

・専門的な内容よりも、市民誰もが参加しやすいスポーツの開発、指導

Q18:市では、体育協会や各スポーツ団体と連携し、「競技スポーツの振興・市内スポーツ 選手の競技力の向上」に努めています。2020年東京オリンピック・パラリンピックや、2024 年滋賀国体・全国障がい者スポーツ大会に向けて、全国や世界で活躍する選手を生み出すた めに、何が必要だと思いますか。(複数回答可)

- ①技術や意欲のある選手絵の支援
- ②スポーツ団体 (スポーツ少年団、スポーツクラブなど) への支援
- ③子どもへの幅広いスポーツの普及と、能力の発掘
- ④専門的な指導者の育成、派遣
- ⑤その他

1	2	3	4	(5)			
55	30	54	50	4			人
29%	16%	28%	26%	2%			%



### その他:

- ・身近で一流選手のプレイを体験できること
- ・他の地域や団体との交流

#### Q19:その他(自由記入)

#### 【子供のスポーツについて】

- 子供にスポーツを指導する人材の育成が必要
- ・子供のスポーツ振興の支援を期待する (イベントの企画など)
- ・子供の利用料負担の軽減を、子供の野外活動の機会づくり
- ・スポ少や中高校生は、楽しむスポーツよりも、勝つための指導者を育成して欲しい
- ・小中学生への支援、特に秀でた能力を有する子供への専門的な指導を強化して欲しい
- ・スポーツ大学の学生が幼稚園や小学校を訪問して指導しているのはとても良い。中学校の 部活の指導等を短期間であっても実施できると生徒達のモチベーションも上がる。学校の部 活動の内容が薄く、学校外のスポーツクラブを選択する子供が増えている
- ・少子化で部活の選択肢が減っているので、興味がある子には機会を作ってあげてほしい。 運動が得意な子供ばかりではないので、強要はしないで欲しい
- ・やる気のある子、努力している子供には機会や環境を提供してあげてほしい
- ・青少年への指導は、言葉遣いなども含めて適切であるかどうかで成長に違いが出る。スポーツの技術や知識だけでなく、人格も優れた指導者の育成をして欲しい
- ・多様な種目のプロ選手の活動(試合や練習)を見る機会があると、子供達が夢や希望を持つ
- ・プロ野球や大相撲の開催
- ・本気で選手を育成するなら、高島B&Gの木幸スポーツを何故外したのか?短期間で方向性が変わり過ぎ。やる気のある子供に最大限の環境を提供してやってほしい
- ・学校教員の部活 (スポーツ) への意識改革が必要

#### 【施設について】

- ・もっと気軽にスポーツできる環境が必要だと思う
- ・気軽に利用できるスポーツ施設が近くに欲しい
- ・施設の使用条件等を明確にし、利用の裾野を広げる施策を求める
- ・十分に稼働していない施設もあると思うので、統廃合や専門的な設備の追加が必要。一般 的な施設では一流選手の輩出は進まないと思う
- ・スポーツを推進するなら、施設を無料にしてほしい
- ・マイナーな種目だと練習環境が不十分で、持込み機材を公民館に保管さえしてもらえない。他の団体は置いているのに、不公平だ
- ・県内に50mプールが欲しい
- ・利用料金を下げて、受益者負担を止めること。低所得者、生活保護の人も運動ができるよう、スポーツ格差の解消、裾野を広げる方策を
- ・利用料が値上がりして、足が遠のいた。もっと安いと、若い人たちも利用するのでは?
- ・体育館などは団体が借りる前提になっている。個人や少人数で気軽に利用できるよう改善してほしい。(夫婦2人で卓球が出来るなど)。もっと気軽にスポーツをできる環境にしてほしい
- ・施設の改修はできていると思うが、掃除が行き届いていない。施設の利用方法も分かりに くい

#### 【スポーツ行政について】

- ・市のスポーツ推進計画がこんない細かく作られているとは知らなかった。もっと市の情報を見て参加したい
- ・滋賀国体に向けて頑張ってください。
- ・広報紙に活躍する選手を載せているのは、興味深く読んでいる。
- ・スポーツイベントを開催されていることには敬意を表するが、スポーツ団体への動員がかかることが負担である
- ・ワールドランのような大きなイベントがあると、気軽に参加し、スポーツの楽しさや面白さを実感できる。そこからスポーツに対する姿勢が変化する。市としてこのような大きなイベントを誘致、開催してほしい

- ・スポーツをしたいと思えば出来る環境があるということを知ることができて良かった。スポーツを通じて健康を保ちたい
- ・スポーツに関する行政の情報発信が少ないと思う。市で何をどう取り組んでいるのか全く分からない
- ・情報発信、良き指導者、世代別に特化したスポーツの普及が必要と思う。
- ・スポーツ団体についての情報の入手先が分からないので、市HP等で一覧があると良い (活動場所、会費、メンバー構成、写真など)
- ・スポーツ推進委員は名誉職に近い感じがする
- ・スポーツ団体に入っていないと情報が得られない
- ・スポーツ大学との連携が政治家のパフォーマンスとならないようお願いしたい

# 【その他】

- ・学生や市民が楽しみながらできるスポーツの普及が必要
- ・スポーツ施設に行くことができない高齢者や忙しい人などに対して、『自宅でできる10分の運動』などの情報を提供したらどうか
- ・競技志向、勝敗ではなく、遊び感覚のスポーツをもっと普及させればスポーツを推進できると思う
- ・以前、スポーツ大学に指導を仰ぎに行ったら、あまり親切ではなかった
- ・一人でも多くの市民がスポーツに興味を持てるような施策を
- ・高齢者も参加可能なスポーツの普及を望む
- ・スポーツは面倒、苦手と思う人でも、ウォーキングは簡単に無理なくできると思う。高齢者の健康や医療費の削減にもつながると思う
- ・集落の軒数減少や高齢化で、運動会や球技大会もなくなってしまい、運動は個人でするしかなくなってしまった
- ・小学生のドッチボール大会は、苦手意識の克服や仲間づくりに有意だと思うが、参加者が 減っているのが残念
- ・高齢者のグラウンドゴルフは盛んだと思うが、働き盛りの世代は忙しくてスポーツから遠のいているのではないか
- ・健康年齢の上昇、老人を健康にすることは、医療費の抑制や財政運営の健全化、ひいては若者の定住にもつながるのではないか。高島市は高齢化率も高いので、スポーツ振興の必要性は高いと思う。健康、福祉分野との連携が必須
- ・健康推進委員と連携して、高齢者向けスポーツや食生活の改善を重点的に活動すれば良い と思う。年代に関係ない取り組みで、地域全体のスポーツ意識の向上も必要
- ・体力に自信がない人でも楽しめるスポーツイベントや、少人数でも出前指導してくれると 良いと思う
- ・スポーツの推進と共に、食生活、栄養指導も推進できると良いと思う
- ・スポーツを通じた健康、地域活性化、人のふれあいを推進して欲しい

アンケートにご回答いただきました皆様、貴重なご意見を頂戴いたしまして誠にありがと うございました。本アンケートの結果は、高島市スポーツ推進計画の中間見直しの参考資料 とさせていただきます。

【高島市教育委員会事務局 市民スポーツ課】

#### 参考資料

- ※1 「高島市スポーツ推進計画」は市のホームページでご覧いただけます。(http://www.city.takashima.lg.jp/www/contents/1381301787346/index.html)
- %2 国が平成12年に策定したスポーツ振興基本計画において「成人の週1回以上のスポーツ実施率が2人に1人(50%)となることを目指す」としています。
- ※3 市の公共施設である主な体育施設は以下のとおりです。
  - 【マキノ】マキノ土に学ぶ里研修センター(グラウンド、体育館) マキノ屋内グラウンド マキノ林間スポーツセンター(グラウンド、テニスコート) マキノ高原(体育館、テニスコート、グラウンドゴルフ場) マキノピックランド(グラウンドゴルフ場)
  - 【今 津】今津総合運動公園(スタジアム、グラウンド、テニスコート、グラウンドゴルフ場、ゲートボール場、プール等)、山村広場今津上体育館、今津北体育館、今津水泳プール、弘川運動公園市ヶ﨑テニスコート、宮の森テニスコート ビラデスト今津(テニスコート)
  - 【新 旭】新旭森林スポーツ公園(野球場、テニスコート) 新旭体育館、新旭武道館、新旭グラウンド
  - 【安曇川】健康の森梅ノ子運動公園(グラウンド、テニスコート、 ゲートボール場等) 安曇川総合体育館、安曇川多目的グラウンド
  - 【高 島】高島B&G海洋センター(プール、体育館、ジム、グラウンド等) 横山農村広場
  - 【朽 木】グリーンパーク想い出の森(グラウンド、体育館、テニスコート、グラウンドゴルフ場、プール等) 朽木グラウンド 朽木スキー場
  - 【その他】体育施設のほか、学校開放施設として市内小中学校の体育館、 グラウンドがあり、また民間のスポーツ施設としてスキー場、 プール、ゴルフ場、テニスコート等があります。
- ※4 市では、合併前の6つの地域から各4~8人を選出し、35人をスポーツ推進委員 として委嘱し、高島市スポーツ推進委員会を組織しています。

# 参考資料②

# 高島市スポーツ振興計画策定に向けての市民意識調査

#### 〇調査概要

## (1)調査の目的

この調査は、市民のスポーツ参加の実態や市民のスポーツライフの方向性 を把握し、新しい時代にふさわしいスポーツ振興施策づくりへ反映すること を目的とする。

#### (2)調査の対象および人数

住民基本台帳から無作為に抽出した、20歳以上の市民1,000人を対象とした。

年代	男性	女性		
20歳代	100名	100名		
30歳代	100名	100名		
40歳代	100名	100名		
50歳代	100名	100名		
10歳代	100名	100名		
計	500名	500名	合計	1,000名

#### (3)配布・回収方法

郵送により調査票を配布し、各支所および各公民館窓口で回収を行った。

# (4)調査期間

平成22年10月8日~平成22年10月31日

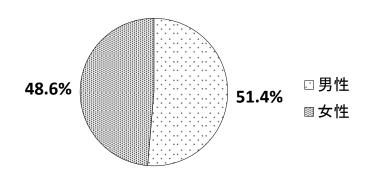
## (5)回収状況

配 布 数	1,000件
回 収 数	3 3 1 件
回収率	3 3 . 1 %

# 高島市の運動・スポーツに関わる意識調査

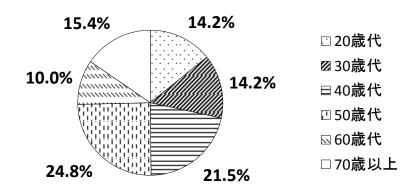
問1 あなたの性別を教えてください。

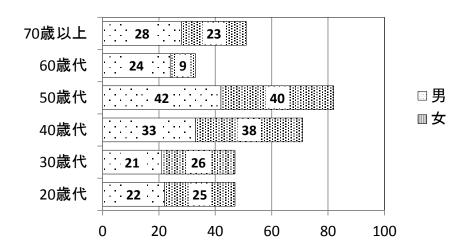




問2 あなたの年齢を教えてください。(平成22年10月1日現在)

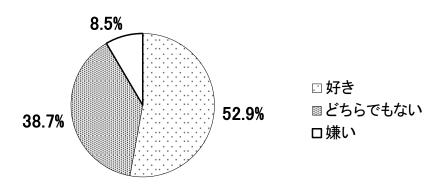
① 20歳代 47 ② 30歳代 47 ③ 40歳代 71 ④ 50歳代 82 ⑤ 60歳代 33 ⑥ 70歳以上 51





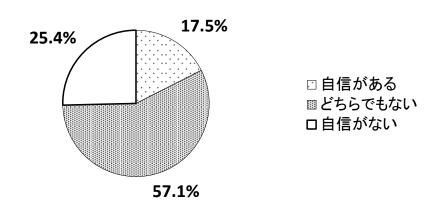
問3 あなたは、運動・スポーツで体を動かすことが好きですか。

① 好き *175* ② どちらでもない *128* ③ 嫌**い** *28* 



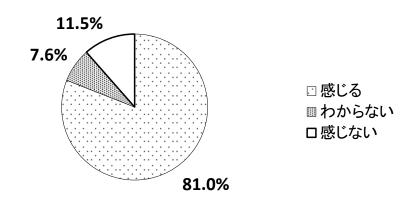
問4 あなたは、自分の健康・体力に自信を持っていますか。

① 自信がある 58 ② どちらでもない 189 ③ 自信がない 84



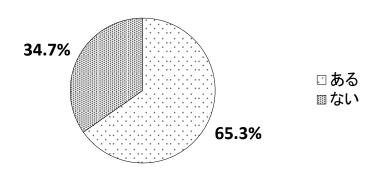
問5 あなたは、運動不足だと感じることはありますか。

① 感じる *268* ② わからない *25* ③ 感じない *38* 



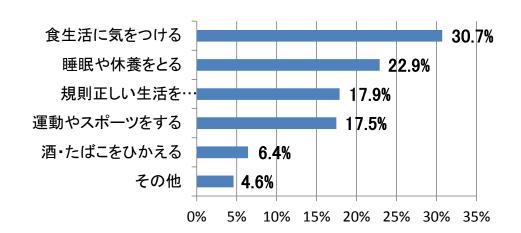
問6 あなたは、健康や体力の維持のために何か心がけていることがありますか。

① ある *216* ② ない *115* 



問7 <u>問6で「ある」と答えた方</u>は、どのようなことを心がけていますか。 (3つまで回答可)

- ① 食生活に気をつける 153
- ② 睡眠や休養をとる 114
- ③ 運動やスポーツをする *87*
- ④ 規則正しい生活をする *89*
- ⑤ 酒・たばこをひかえる 32
- ⑥ その他
- 23



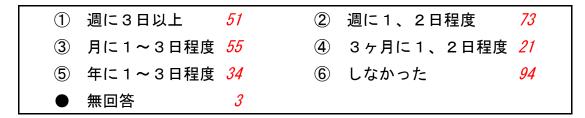
#### 【その他の内容】

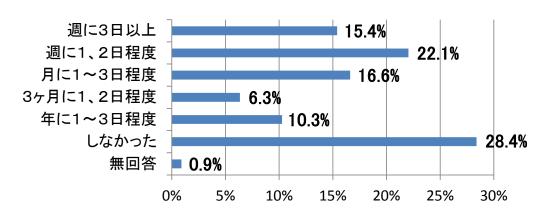
ウォーキング、サプリメントで補う、室内で軽運動、定期検査 を受ける、レクリエーション、車を使わずに自転車徒歩で行動、 欠かさず入浴、ダイエット、毎日軽いストレッチ、犬の散歩、 水泳、精神力を高める、禁煙、農作業、ラジオ体操

問8 この1年間、主にどんな運動・スポーツをしましたか。(3つまで回答可)

ウォーキング	<mark>88</mark> ヨガ	<b>5</b> 手振り体操	1
グラウンドゴルフ	<b>28</b> 登山	<i>5</i> ダンベル体操	1
ゴルフ	28 スノーボード	<i>5</i> ダンス	1
テニス	<b>21</b> テレビ体操	<i>3</i> ダイエット体操	1
ジョギング	21 農作業	<i>3</i> スキューバダイ	ビング <b>1</b>
筋カトレーニング	<b>17</b> 水中ウォーキング	<i>2</i> 乗馬	1
野球	<i>15</i> マラソン	<u>2</u> 社交ダンス	1
水泳	<b>14</b> なわとび	2 ジェットスキー	1
バレーボール	<i>12</i> 気功	2 ゲートボール	1
サイクリング	<i>12</i> フットサル	2 キャンプ	1
スキー	<b>12</b> 釣り	2 キックベースボ-	-ル 1
ストレッチ	10 健康体操	<i>2</i> カヌー	1
バドミントン	<i>10</i> 輪投げ	<b>/</b> エクササイズ	1
ビーチバレーボール	9 ポンプ操作訓練	<b>/</b> エアロビクス	1
ラジオ体操	9ペーロン	<b>/</b> ウエイクボード	1
ボウリング	<b>8</b> フラフープ	/ ウインドサーフィ	ツ 1
卓球	7 フラダンス	/ 剣道	1
ソフトボール	6 引っ越し作業	1 ソフトバレーボー	-ル 1
サッカー	6 バスケットボール	1 サーフィン	1
ハイキング	<u>5</u> ながら体操	1	
運動会	<i>5</i> ドッジボール	1	

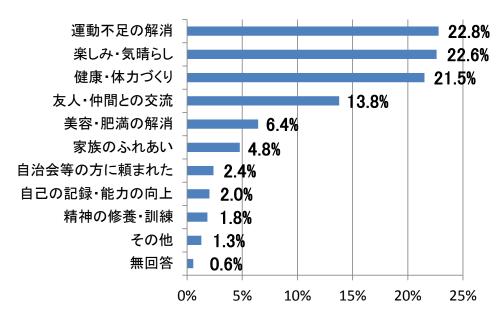
## 問9 この1年間に運動やスポーツをどれくらいしましたか。





問10-1 回りで①~⑤を選んだ方にお尋ねします。あなたが、運動やスポーツをしたのは、どのような理由からですか。(3つまで回答可)

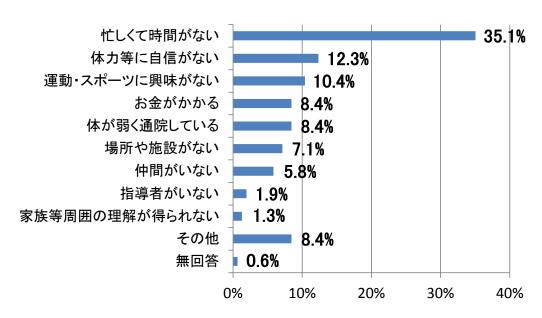




【その他の内容】 授業参観、ダイエット、仕事の関係

問10-2口間9で⑥を選んだ方にお尋ねします。あなたが、運動をしなかったのは、どのような理由からですか。(3つまで回答可)

1	忙しくて時間がない 54		2	体が弱く通院している	13
3	体力等に自信がない <i>19</i>		4	場所や施設がない	11
<b>⑤</b>	仲間がいない <i>9</i>		<b>6</b>	指導者がいない	3
7	運動・スポーツに興味がない	<i>16</i>	8	お金がかかる	13
9	家族等周囲の理解が得られない	2			
10	その他 <i>13</i>		lacktriangle	無回答	1



# 【その他の内容】

機会がなかった、子育てのため時間がない、歌の発声練習をしている、怪我のため、続けられる自信がない、特に理由はない、手術後のため、時間が合わない

問11 今までに参加した運動・スポーツで楽しかったことを書いてください。(3つまで回答可)

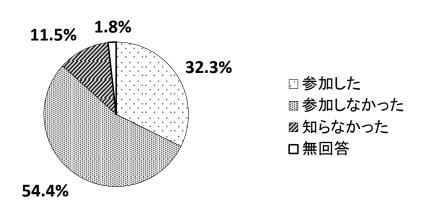
テニス	<i>27</i> エアロビクス	5 インラインスケート	1
	26 フットサル	<u>5</u> 体育の授業	1
ゴルフ	22 筋カトレーニング	<b>4</b> カヌー	1
 水泳	20 スノーボード	<b>4</b> なわとび	1
バレーボール	<b>20</b> スケート	<i>3</i> エクササイズ	1
野球	<i>16</i> アクアビクス	<b>2</b> ウォークラリー	1
運動会	<i>15</i> ジャズダンス	2 レクリエーション	1
登山	13 太極拳	<b>2</b> 駅伝	1
ソフトボール	<i>12</i> ドッジボール	<b>2</b> 体操	1
バドミントン	11 水中ウォーキング	<u>2</u> ダンス	1
サッカー	11 ウエイクボード	1 ジョギング	1
マラソン	<i>10</i> 鉄棒	1 サイクリング	1
ソフトバレーボール	10 マット運動	<b>1</b> 柔道	1
スキー	<i>10</i> 砲丸投げ	/ 社交ダンス	1
ウォーキング	<i>9</i> スポーツカーニバル	1 ウインドサーフィン	1
ビーチバレーボール	8 竹馬	<b>1</b> スポレック	1
バスケットボール	8 キックベースボール	<b>1</b> フラダンス	1
ボウリング	8 スキューバダイビング	1 バレエエクササイズ	1
ヨガ	<mark>7</mark> ズンバ	1 スノーシュー	1
ハイキング	6 カヤック	1	
卓球	<b>6</b> カーレース	1	

問12 これからやってみたい(興味のある)運動・スポーツを書いてください。(3つまで回答可)

テニス	<i>33</i> フットサル	3	サーフィン	1
ウォーキング	<b>27</b> 水中ウォーキング	3	体操	1
水泳	27 ハイキング	3	ヨット	1
ヨガ	<b>26</b> エアロビクス	2	ラフティング	1
グラウンドゴルフ	<i>18</i> 剣道	2	カローリング	1
ゴルフ	<i>16</i> エクササイズ	2	ラジオ体操	1
マラソン	<i>13</i> カーリング	2	自力整体	1
卓球	<i>13</i> ソフトボール	2	マット運動	1
バドミントン	<i>12</i> ボウリング	2	トランポリン	1
登山	<i>10</i> ピラティス	2	室内サッカー	1
野球	<i>9</i> ダンス	2	なわとび	1
筋カトレーニング	8 アーチェリー	2	ウォークラリー	1
サイクリング	8 ソフトバレーボール	2	ゲートボール	1
スキー	7 ベリーダンス	1	魚つり	1
スノーボード	<u>5</u> 沢登り	1	狩猟	1
ジョギング	<b>4</b> チューブ体操	1	ハンドボール	1
バレーボール	4 加圧トレーニング	1	踏み台昇降運動	1
フラダンス	4 自宅で手軽にできる運動	1	有酸素運動	1
ビーチバレーボール	<b>4</b> 気功	1	アクアビクス	1
太極拳	4 バンジージャンプ	1	弓道	1
サッカー	<i>3</i> カーレース	1	ウェイクボード	1
カヌー	<i>3</i> スカイダイビング	1	生命の貯蓄体操	1
ストレッチ	3 スキューバダイビング	1	空手	1
スケート	3 バスケットボール	1	柔道	1

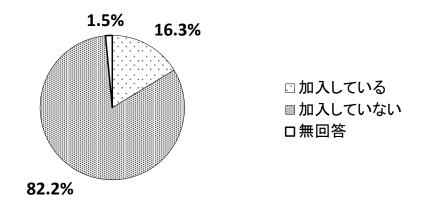
問13口 この1年間に市や自治会、団体などが催された地域スポーツ行事 に参加されましたか

- ① 参加した 107 ② 参加しなかった 180 ③ 知らなかった 38
- 無回答 *6*



問14 運動やスポーツクラブや同好会(サークル)に入っていますか。

- ① 加入している 54 ② 加入していない 272
- 無回答

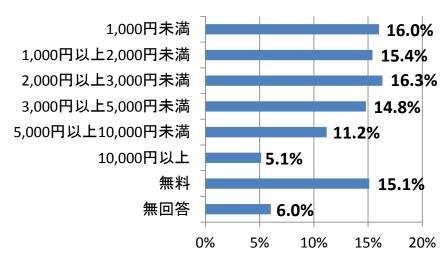


問15口  $\frac{問14で①を選んだ方}{ですか。}$ にお尋ねします。その運動やスポーツの種目は何ですか。

グラウンドゴルフ	11	スキー	2	乗馬	1
バレーボール	7	ポンプ操作訓練	1	ボウリング	1
ゴルフ	6	アウトドア	1	ストレッチ	1
テニス	5	アクアビクス	1	社交ダンス	1
野球	4	水中ウォーキング	1	剣道	1
総合型地域スポーツクラブ	3	水泳	1	フットサル	1
卓球	3	ウインドサーフィン	1	ヨガ	1
バドミントン	3	ウォーキング	1	ビーチバレーボール	1
ソフトボール	2	登山	1		
筋カトレーニング	2	ソフトバレーボール	1		

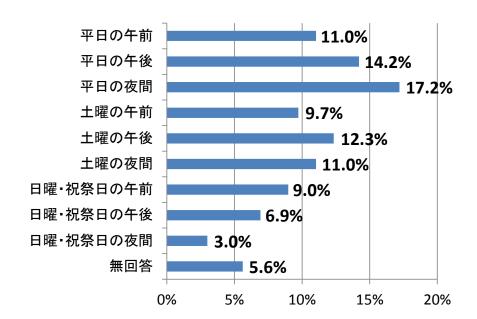
問16口 スポーツ教室やクラブに参加する際、あなたが負担してもよいと思う 年会費はいくらですか。





問17口 参加したいスポーツ教室の時間帯は、いつがよろしいですか。(3つまで回答可)

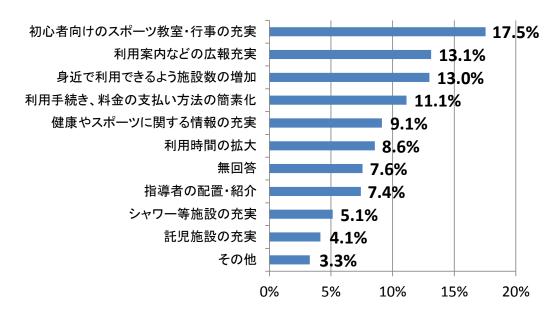
1	平日の午前	<i>59</i>	2	平日の午後	<i>76</i>
3	平日の夜間	<i>92</i>	4	土曜の午前	<i>52</i>
<b>⑤</b>	土曜の午後	<i>66</i>	<b>6</b>	土曜の夜間	<i>59</i>
7	日曜・祝祭日の午前	48	8	日曜・祝祭日の午後	<i>37</i>
9	日曜・祝祭日の夜間	<i>16</i>		無回答	<i>30</i>



あなたは、市の公共スポーツ施設について、何か望むことがあります 問18口 か。

(複数回答可)

1	指導者の配置・紹介	<i>52</i>	2	利用時間の拡大	<i>60</i>
3	利用案内などの広報充実	92	4	シャワー等施設の充実	<i>36</i>
<b>⑤</b>	託児施設の充実	29	<b>6</b>	健康やスポーツに関する情報の充実	€ <i>64</i>
7	初心者向けのスポーツ	/教室	≧やス	、ポーツ行事の充実 <i>123</i>	
8	利用手続き、料金の支	払し	・方法	<del>え</del> の簡素化 <i>78</i>	
9	身近で利用できるよう	、旅	<b>西</b> 設数	رの増加 <i>91</i>	
10	その他	23	•	無回答 53	



# 【その他の内容】

施設のメンテナンスがなっていない、特になし、これ以上税金を投入することはやめてほしい、年齢別に参加しやすいスポーツの開催、1回のみの参加など参加しやすいシステム、無料のジョギングコースをつくってほしい、気軽に利用できること、子どもも参加しやすいスポーツ、施設の現状を把握してないのでわからない、自転車で行ける距離に施設がほしい、施設の完全無料化、子ども一緒に参加したい、B&G海洋センターを月曜も利用したい、交通費を安くしてもらいたい、仕事のあとでも参加できる教室があるといい、各旧町村の運動会を続けてほしい

## ●スポーツや健康づくりに関する意見

- ・近くに筋カトレーニング設備を備えた施設がほしい。温水プール室内ウォーキングコースの設置等、低料金で利用できる施設の建設。
- ・市職員は地域のスポーツ施設利用料が無料なのに、市内在勤者が有料は納得できない。皆が自由に利用できるよう平等に扱ってほしい。
- 運動不足であると感じるが、第一歩がなかなか踏み出せない。
- ・高齢者や体力に自信がない人でも安全にウォーキングできるようなコースが 近くにあるといい。車イスから立ち上がる練習ができるものが駅前や公園の 片隅にでもあるといい。
- ・スポーツは自身の楽しみのために行うもので、対価が必要となることは当然。 施設の充実のためにある程度の負担が発生するのは当たり前。
- ・楽しんで気軽に参加できることが大切。経験のある人とない人とでは、レベル差が大きく、下手な者はただつらいだけの経験となり、益々参加しなくなる。市としてあまり片寄った税金投入は控えてほしい。
- ・誰もが嫌々参加している市民運動会を廃止し、ウォーキングや卓球など、種 目別に自主的に行える競技大会を、市全体・地区対抗で開催されてはどうか。
- 親子で参加できるものがあるとよい。
- 育児中でもできるスポーツがあればぜひ参加したい。
- 高齢者が身近な所で楽しめるようなスポーツを指導してほしい。
- ・新旭森林スポーツ公園のテニスコート使用料が高すぎる。1時間、200円 程度なら妥当。
- ・仕事以外に時間を設けるのが大変。限られた時間の中でスポーツ等を行うのは無理が生じる。
- ・市広報での小中学生の大会結果の記載に、学校間・地域間の差が出ているように思う。運動、スイミングなどの活動が少しでも多くの学校に行き渡るよう希望する。
- ・高齢で足腰に痛みがあっても水中なら運動ができるので、駅の近辺など、近 所に温水プールがあるといい。
- 高齢で遠くまでは行けないので、近くに施設があってほしい。
- ・40歳以上もしくは高齢者の運動・スポーツ時のメディカルチェック体制は 整備されているのか。
- 小さい子どもがおり平日の夜は外出できないので、土日の午前中にスクールがあれば参加したい。
- ・今は休みが不規則なので参加は難しい。高島へ帰ったら参加したい。
- 気軽に誰でもいつでも無料でできる簡単なものがあれば理想。

- 市民運動会やソフトボール大会など、休日を返上して参加させるのはどうかと思う。ほぼ強制的で嫌々参加してる人がいることも理解してほしい。
- ・忙しく、スポーツをする時間がない。何をするにも料金がかかり、手続きも ややこしく、どこに何をする施設があるのかよくわからない。
- ・ボウリングのイベントをやってほしい。
- ・いくら充実した施設があっても、行けない人には無用の長物。スポーツや運動は、三度の食事と同じ、生きていくために大切なことと意識づけすることが大切。
- ・スポーツ、健康づくりが継続できるには、環境づくりが必要
- ・楽しみながらスポーツができるのは素晴らしいこと。健康づくりに最近関心 が出てきたようである。
- ・サンルーフ今津でソフトテニスをするとき、屋根部分が白色なのでボールが 見えづらい。
- ・OBC高島という社会人チームがあるので、少年野球大会やシニア野球大会など、市が冠になって行えばよいのではないか。もっとふれあえば、スポーツに対する興味もわく。
- ・子どものころからスポーツに対して何の興味もなかった。そんな人でも興味 を持てるような施設があればよい。
- ・以前住んでいた県では、会費が安く、色々なスポーツ教室があった。
- ・健康づくりに大いに関心がある。スポーツだけでなく、音楽も体力づくりに よいと思うので、充実してほしい。食生活も大切なので、有料でもよいので 栄養学の講習会を開催してほしい。
- 各地区で行事があると参加しやすい。
- ・スポーツはしたいが体の自信がないという高齢者がいるので、高年化に伴い、 そのあたりの充実が必要。スポーツ振興の対象年齢をどこにおくかで政策が 異なってくるのではないかと思う。
- ・新旭の居住者で、ヨガ教室が中止になったのは残念。マキノでの教室に参加する。新旭でマシンを使った筋カトレーニングとヨガ教室の再開を強く希望する。多数の市民がスポーツ教室に参加できるよう、市民に応分の負担を求めたうえで、魅力ある呼びかけを強くすすめてもらいたい。
- 市民が施設を利用するのにナイター設備等の利用料をとるのはおかしい。税金で建設した施設でなぜ利用料を払うのか理解し難い。市内のチームについては、完全無料化が当たり前だと思う。
- 税収がない中、事業を行うには、すべて受益者負担が基本である。ただし、 18歳未については、全額無料で税の投入も必要。すべてをオープンにして 議論すべき。

- ・道具を使ったスポーツに関しては、施設があり教室が充実していると思うが、マラソンやジョギングに関しては何もないので考えてほしい。
- ・高齢化が進む高島市において、若者の定住化が大きな課題である。田舎ならではのメリットをもっとアピールしたほうがよい。
- ・子どもがいるとなかなか外出できない。親子参加型でなくても同じ時間帯・ 同じ場所で親と子が違うスポーツができると参加しやすい。
- ・地元でみんなで楽しくできるスポーツイベントがあれば参加したい。
- ・海洋センター前バス停から施設まで老人の足で10分かかる。役所へもグラウンド信号のところにバス停をつけてもらえるようお願いしているが返答なし。
- トレーニングジムを無料で利用できるのは嬉しい。
- ・偏ったスポーツ事業しか見えない。地域に根ざした取り組みをしてはどうか。
- ・現在のクラブ等は内々でまとまっていて、なかなか参加しづらい状況である。 市民がもう少し参加しやすいクラブ(スポーツ教室)にすべき。
- ・楽しみ、気晴らしや、友人仲間との交流も兼ねたスポーツや健康づくりであれば、継続につながるので、年齢や性別を限定したスポーツ教室があるとよい。
- ・仕事と家事で毎日が忙しく、スポーツをしたくても時間も場所もないのが現 状。気軽に参加できるようなもののほうがいいのではないか。
- ・冬季期間中や雨でも利用できる施設がほしい。市内での活動の詳細等、情報を流してほしい。
- ・各旧町村の運動会、地区対抗だと人数が集まらないので、オープン参加で開催するのはどうか。
- ・運動の必要性は分かるが時間がない。普段の食事のアドバイスなどをしてくれる栄養学に関する教室を充実させてほしい。
- 気軽に参加できるスポーツ教室の開催と広報をしてほしい。
- ・事業所への案内をしてほしい
- 歩行が難しい状態で、スポーツは諦めている。何か良い方法があれば教えて ほしい。
- ・今は運動することが嫌だが、もう少し年をとったらスポーツ教室等に興味が 湧いてくると思うので、より一層利用しやすいようにしてほしい。
- ・スポーツ施設の予約をパソコンで行えるようにしてほしい。
- 育児で忙しく、スポーツをしようという気持ちの余裕がない。
- 自分の体力がどの程度なのか知りたいので、スポーツテストを実施してほしい。

- 子どもとできる簡単なスポーツ教室
- ・障害者スポーツの充実
- ・誰でも気軽に利用できる雰囲気づくりが大切。
- ・総合型地域スポーツクラブを利用したいと思ったが、種目の少なさや時間的 な都合が合わず断念した。情報はロコミが多くてよく分からず、インターネットで分かるようにしてほしい。
- ・夜間にマキノでウォーキングをしているが、もう少し外灯をつけてほしい。今津でバドミントンクラブができてほしい。
- 健康のためにも週に1、2回有酸素運動から始めたい。
- ・今後、やったことのないゴルフに参加したい。安曇川ミニゴルフ場の割引券 や指導者の紹介を希望する。
- ・樹木の剪定や農作業も健康に役立つと思う。
- ・町対抗の運動会を年1回のメイン行事にして、市おこしに役立ててほしい。
- いろいろな楽しい企画をしてほしい。
- ・スポーツ教室やスポーツ行事の充実をしてほしい。
- ・高齢のためあまりスポーツで無理ができない。年に1回、老人ホームでの歌 の披露を楽しみにしている。その機会が増えるといい。
- 年齢に合わせたスポーツ・運動をする場があれば参加したい。
- ・健康のためにスポーツをしたほうがいいとは思うが、スポーツ施設が少なく、 できる環境ではない気がする。もう少しスポーツ施設が増えれば、スポーツ をやってみようかと思う。
- ・トレーニングジムのゆとりある空間と配置
- ・スポーツ施設の数としては必要な分はあると思うので、スポーツをやってみようかなと思うようなイベントや行事の紹介・広報をしてほしい。
- ・屋外でのスポーツ大会等、雨天中止になることが多いが、順延して大会を行ってもらいたい。
- ・プール使用料を安くするか無料にしてほしい。年間パスでもいい。既存の施設にフィットネスマシンを設置し、いつでも利用できるようにしてほしい。
- ・子どもに空手や柔道を習わせたいと思っているが、どこでどんな団体が何を しているのかがよく分からない。
- ・有料でもよいので、指導者がいて個人的にメニューをつくってもらえる筋力 トレーニングができる場所がほしい。